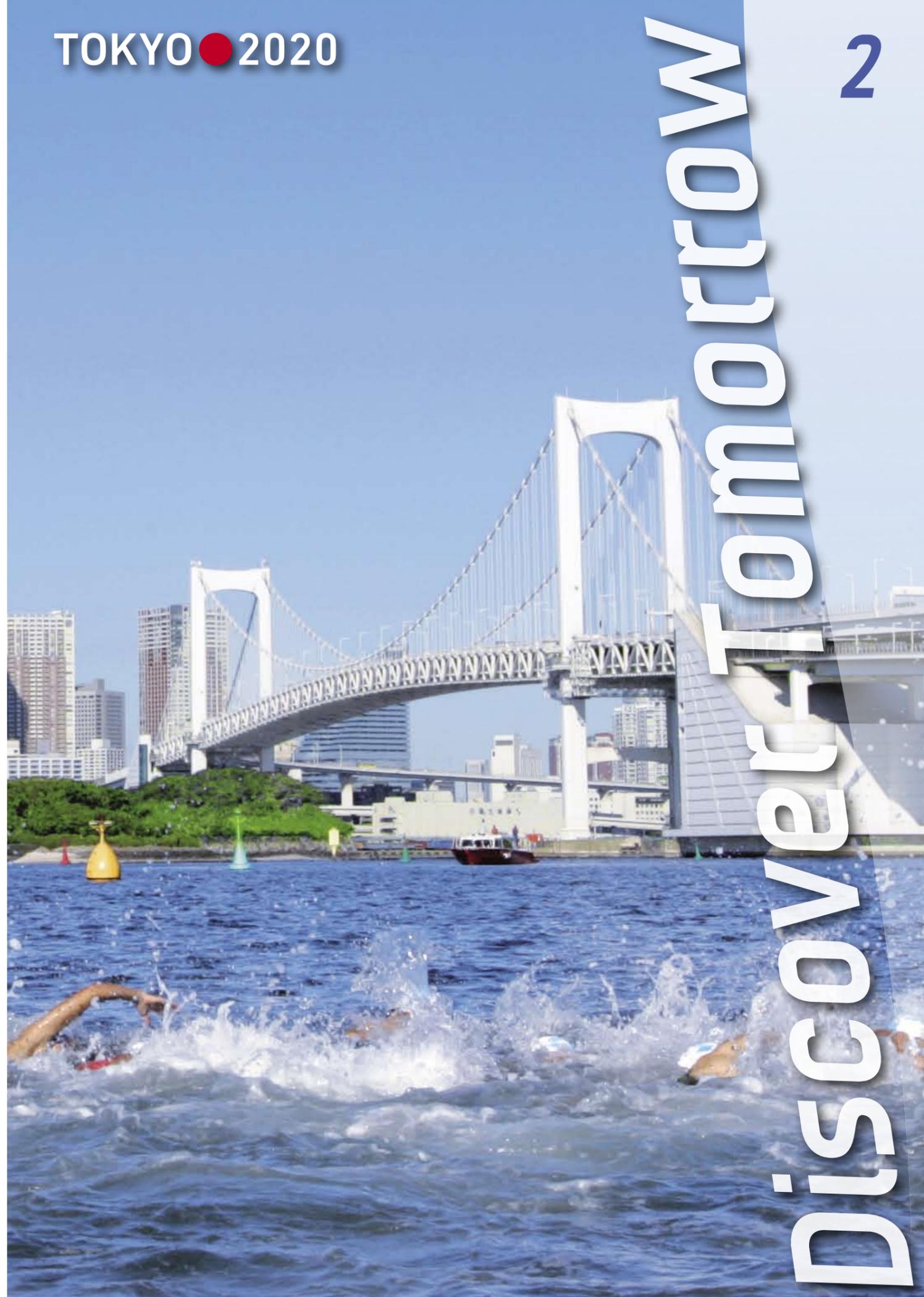




TOKYO ● 2020  
CANDIDATE CITY



TOKYO ● 2020



Discover Tomorrow



# 第2巻導入

## 最高の競技大会を開催し、素晴らしいレガシーを残す、ダイナミックな舞台

2020年東京大会は、世界クラスの競技大会を開催し、また、卓越・友情・尊敬というオリンピックの価値を実現するという点において、選手や全てのオリンピック・ファミリーにとって最高の舞台となる。選手村は東京の新たな中心地となる臨海部に設置され、そこを中心に極めてコンパクトな計画が作成されている。この計画に基づき、全ての人が最高の施設を堪能することになる。

会場配置は、2016年大会のために提出した計画に対するIOCからの貴重な提言を反映し、次の2つの厳格な基準を満たすよう計画された。

- ・選手、関係者、オリンピック・ファミリーの移動時間を最小限にすること
- ・会場や都内、さらに世界中のテレビの前でオリンピックの精神に感銘を受ける観客全てに最高の体験を与えること

選手村は地理的のみならず、運営面、コンセプト面において大会の中心となる。選手や関係者は、東京湾や大都会のスカイラインなど見事な景観に囲まれ、ゆったりとした空間で、すばらしい生活環境を満喫することができる。また、東京の中心に位置し、観光客の間で最も有名で人気の高い銀座も徒歩圏内にあり、文化や食事、ショッピングなどを楽しむことができる。

ヘリテッジゾーンと東京ベイゾーンの2つのゾーンに分けられる競技会場は、他都市のサッカー会場を除けば、85%が選手村から半径8km圏内に位置する。競技会場との往復は簡単かつ迅速に行うことが可能である。選手は、時間や労力を無駄にすることなく、効果的で質の高い準備やトレーニングを行うことができる。

競技会場は、3種類に分類される。第一に、1964年大会で使用された歴史ある会場を改装し、さらに50年以上の耐久性を持たせてレガシーとして残すものである。第二に、新たなレガシーとして建設する恒久的な会場であり、都市の生活にとって必要性の高い施設を新設するものである。最後に、東京湾を臨む眺望のよい海岸沿いに建設される仮設会場であり、報道関係者や選手に絶好のロケーションを提供することとなる。

1964年大会のレガシーとして使用される競技会場の中心となるのは、新しいオリンピックスタジアムであり、世界でも最新鋭の競技会場として生まれ変わる。そこでは、歴史と伝統が、東京の革新性や先端技術と融合し、国内的にも国際的にも新たなスポーツの象徴となる。2020年東京大会の開・閉会式がこの会場で開催されるほか、今後数十年にわたり注目を集めるスポーツイベントが開催される予定である。このほかにも、改修された1964年大会の会場を使用する例として、ハンドボールの会場となる国立代々木競技場などがあげられる。

新設される恒久的な会場は、東京湾岸部の長期的な開発にスポーツというバックボーンを与えることになる。この地区は東京の未来を映し出す場所であり、新規事業や再開発により、新たな商業施設や居住施設、娯楽施設が建設されることになる。

東京湾岸部では大会期間中、東京スカイツリーなどのランドマークを背景とした素晴らしいロケーションの競技会場がいくつか設置される。セーリングやトライアスロンなどの競技はそれを象徴するような場所で行われ、選手にとっても、観客や世界中のテレビ観戦者にとっても、理想的な環境を提供する。

2020年東京大会は、選手と彼らの努力を讃え、全ての競技を最高の観客の前で展開し、新たな競技会場と新たな精神によりオリンピックムーブメントを推進しながら、永続的なレガシーを受け継いでいく。



# 08

## 競技及び会場

ダイナミックかつ安全な都市で競技を開催

- ・ 85%の競技会場を選手村から半径8km圏内に配置
- ・ 将来へのレガシーとなるランドマークとしての新オリンピックスタジアム
- ・ 1964年大会の競技会場を活用し、レガシーとして再生
- ・ 都市の中心で長期的なレガシーを提供する11の新設競技会場
- ・ 戦略的に活用する仮設会場を優れたロケーションに配置



2020年東京大会は、世界で最も先進的な思考を持ち、安全な都市の一つである東京の中心において、オリンピック・ムーブメントを普及させ、スポーツとオリンピックの価値を活力あふれるように実施するという深い意欲から立候補したものである。

こうした熱意ある意欲と一致するように、2020年東京大会は、選手を、極めてコンパクトな大会の物理的、精神的な中心に据えた、活力にあふれ、効率的なオリンピック・プランを有している。

東京圏に位置する33カ所の競技会場のうちの28カ所、IBC／MPC、そしてIOCホテル、IPCホテルは、オリンピック・パラリンピック選手村から8キロ以内に設置される。

この計画により、非常に効率性の高いオリンピック用の移動手段と、世界に名高い東京の公共交通ネットワークは、選手及びすべての関係者にとって迅速で利便性の高いオリンピック交通サービスとなる。

会場の選定にあたって、2020年東京大会は、競技会場の選定及び配置に関するIOCのすべてのガイドライン原則を満たした質と価値を具体的に凝縮して示す、またとない機会をオリンピック・ムーブメントに提供する。

東京2020オリンピック・プランにおいては、以下を具体化している。

- ・ オリンピック・レガシーの中心を象徴する既存会場。これらは1964年の東京オリンピック大会以降も継続して使われ、定期的に改修されている。そのため、当時の会場は東京の活力の中心的役割を果たしており、56年後も、東京及び日本がスポーツを重視し、環境にやさしいという視点を強く持っていることの証となる。
- ・ 象徴的な建造物や環境のなかに位置する既存の会場。これらは東京及びこの地域におけるスポーツ、文化、経済的なニーズを満たしている。こうした会場の多くは、国際的なスポーツ大会をこれまでも開催しており、一部は、2020年オリンピックに向けた改修が適宜行われる予定である。また、すべての会場が、国際競技連盟と協力して、大会の実施とスポーツ競技に必要とされる高い基準を満たすことが可能である。
- ・ 現代東京のビジョンとニーズが織り込まれた新たな恒久施設は、スポーツと文化の中心に現在不足している部分を埋め、成長し続ける活力ある大都市のニーズに対応していく。
- ・ 仮設会場は、持続可能性を優先するクリエイティブなデザイナーが提示する最高の仕様に沿って提供される。大会ごとに施設整備システムの可能性が広がり、2020年東京大会は世界をリードする革新者としての立場を生かし、高度な持続可能性を満たした計画と実践を備えたオリンピック・スポーツに値する会場を提供する。
- ・ 実践性とダイナミクスを兼ね備えた会場は、ユニバーサル・デザイン・スタンダードとバリアフリー環境に対する東京の真摯な姿勢を通して、オリンピック・パラリンピック大会の開催場所となる。

壮大な背景と象徴的な環境において、2020年東京大会は、そのコンパクトな会場配置プランと最高の交通システム、大会計画を以って、選手がベストな状態でプレーすることを可能にし、すべてのオリンピック・ファミリーと観客が安全で快適な、意義があり、気分が高揚するような経験を2020年東京大会で味わえるような施設を提供する。

### 8.1 競技日程

テーマ8の付属書類Aに記載のオリンピックプログラムに基づき、以下の情報を表8.1に記入してください。

競技日程は、この活気があり治安の良い東京の中心における2020年大会のコンパクトなコンセプトの利点を反映している。

招致では、中心となる選手への影響を第一に考えて日程を立てるとともに、競技会場の総数を最低限に抑える方針に従って円滑な輸送ネットワーク及びコンパクトな会場インフラを最大限活用する。

メダルの授与は、最高のタイミングで行われ、選手のニーズとともに観客、大会関係者、報道関係者の期待に応えるよう、テレビの視聴や観客の要望がもっとも多いテレビのゴールデンタイムに合わせた週末に日程が組まれる。

2008年北京大会、2012年ロンドン大会、さらには前回の2016年の招致を教訓に、選手にとって最適な競技日程を立て、最大限の良い効果をもたらす大会成功の核とする。東京で2020年大会が開催されることになった場合、IOC及び国際競技連盟との緊密な連携のもと、引き続き日程を改善する。



国立代々木競技場

日本武道館



表 8.1 - 競技日程

競技	種別	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	金メダル数計		
		(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)			
開会式/閉会式				20:00 - 23:00 O.C.																21:00 - 24:00 C.C.			
アーチェリー					12:00 - 14:00 15:00 - 17:00	09:00 - 11:00 14:00 - 18:00	09:00 - 11:00 14:00 - 18:00	09:00 - 13:00 14:30 - 17:30	09:00 - 13:00 14:30 - 17:30	09:00 - 13:00 14:30 - 18:30		10:30 - 12:30 14:30 - 17:15	10:30 - 12:30 14:30 - 17:15									4	
陸上競技	トラック																						
	競歩																						
	マラソン																				07:30 - 11:00		
水泳	競泳				10:00 - 13:00 19:00 - 21:15	10:00 - 12:50 19:30 - 21:25	10:00 - 11:40 19:00 - 21:15	10:00 - 12:15 19:30 - 21:20	10:00 - 13:05 19:30 - 21:35	10:00 - 12:10 19:30 - 21:05		10:00 - 12:50 19:30 - 20:50	10:00 - 12:50 19:30 - 21:00										32
	飛込					15:00 - 16:00 W/F(1)	15:00 - 16:15 M/F(1)	15:00 - 16:05 W/F(1)	15:00 - 16:05 M/F(1)		14:30 - 17:00 W	14:30 - 15:50 W/SF	14:30 - 15:45 W/F(1)	14:00 - 17:00 M	14:30 - 16:00 M/SF/F(1)	14:30 - 17:25 W	14:30 - 15:55 W/F(1)	14:00 - 17:30 M	14:30 - 16:10 M/F(1)				8
	シンクロナイズド スイミング														19:30 - 21:10 F(1)		19:30 - 20:15 F(1)		19:30 - 21:00 F(1)			2	
	水球					10:00 - 12:40 14:10 - 16:50		10:00 - 12:40 14:10 - 16:50		10:00 - 12:40 14:10 - 16:50		14:10 - 16:50 18:20 - 21:00	14:10 - 16:50 18:20 - 21:00	14:50 - 17:30 19:00 - 21:40	14:10 - 16:50 18:20 - 21:00	14:10 - 16:50 18:20 - 21:00	14:30 - 17:10 18:40 - 21:20	14:30 - 17:10 18:40 - 21:50	14:20 - 17:00 18:30 - 21:10	14:30 - 17:40 M/F(1)			2
	マラソン 10km																09:00 - 12:00 W/F(1)	09:00 - 12:00 M/F(1)				2	
	バドミントン				09:00 - 12:00 14:00 - 16:30	10:00 - 13:30 18:30 - 22:00	10:00 - 13:30 18:30 - 22:00		10:00 - 13:30 18:30 - 22:00	10:00 - 13:30 18:30 - 22:00										5			
	バスケットボール				09:00 - 13:00 14:30 - 18:30	09:00 - 13:00 14:30 - 18:30		09:00 - 13:00 14:30 - 18:30	14:30 - 18:30 14:30 - 18:30	14:30 - 18:30 14:30 - 18:30				12:00 - 17:00		2							
ボクシング				13:30 - 16:30 19:00 - 22:00	13:30 - 16:30 19:00 - 22:00	13:30 - 16:30 19:00 - 21:30	13:30 - 16:15 19:00 - 21:45	13:30 - 16:30 19:00 - 22:00	13:30 - 15:30 19:00 - 21:00	13:30 - 16:30 19:00 - 22:00	13:30 - 15:30 19:00 - 21:00	13:30 - 16:30 19:00 - 22:00	13:30 - 16:30 19:00 - 21:00	13:30 - 16:30 19:00 - 22:00	13:30 - 16:30 19:00 - 21:00	13:30 - 15:00 19:00 - 22:00	13:30 - 16:00 16:30 - 18:00	13:30 - 16:00 19:00 - 21:30	13:30 - 16:00 19:00 - 21:30	13:30 - 16:00 19:00 - 21:30	13:30 - 16:00 M/F(1)		13
カヌー	スプリント														09:30 - 12:00 M/W	09:30 - 11:45 M/W	09:30 - 11:15 M/W/F(4)	09:30 - 11:15 M/W/F(4)	09:30 - 12:00 M/W	09:30 - 11:20 M/W/F(4)			12
	スラローム					13:30 - 17:40 M	13:30 - 17:30 M/W	13:30 - 15:55 M/F(1)	13:30 - 16:10 M/W/F(1)	13:30 - 17:00 M/W/F(2)													4
自転車競技	トラック・レース									16:30 - 19:00 M/W/F(2)	16:30 - 19:25 M/W/F(2)	16:30 - 19:10 M/W/F(1)	16:30 - 19:35 MF/W(1)	16:30 - 19:25 MF/W(1)	16:30 - 19:00 M/W/F(3)							10	
	ロード・レース				11:00 - 17:15 M/F(1)	13:00 - 17:15 W/F(1)			11:30 - 13:00 13:15 - 15:30 M/W/F(2)													4	
	マウンテンバイク																			16:00 - 18:00 W/F(1)	15:30 - 17:30 M/F(1)	2	
	BMX														10:00 - 11:30 M/W	10:00 - 12:00 M/QF	10:00 - 12:20 M/W/SF(2)					2	
馬術	馬場馬術									19:00 - 23:30	19:00 - 23:30				19:00 - 23:45 F(1)		19:00 - 23:00 F(1)					2	
	障害馬術											19:00 - 22:35	19:00 - 22:15	19:00 - 22:15 F(1)		19:00 - 23:35 F(1)						2	
	総合馬術				08:30 - 12:30 19:00 - 23:00	08:30 - 12:30	08:30 - 12:30		19:00 - 23:15 F(2)														2
フェンシング				10:30 - 16:00 18:00 - 20:30	10:30 - 14:30 18:00 - 19:50	10:30 - 16:00 18:00 - 20:30	10:30 - 16:00 18:00 - 20:30	9:00 - 16:00 17:30 - 21:20	09:00 - 16:30 18:00 - 20:50		10:30 - 15:30 18:00 - 19:50	09:00 - 16:30 18:00 - 20:50	09:00 - 16:30 18:00 - 20:50									10	
サッカー		17:00 - 21:30			17:00 - 21:30			17:00 - 21:30			21:00 - 24:00	21:00 - 24:00			21:00 - 24:00								
		17:00 - 21:30	17:00 - 21:30		17:00 - 21:30	17:00 - 21:30		17:00 - 21:30	17:00 - 21:30		18:00 - 21:00	18:00 - 21:00			18:00 - 21:00								
		17:00 - 21:30	17:00 - 21:30		17:00 - 21:30	17:00 - 21:30		17:00 - 21:30	17:00 - 21:30		18:00 - 21:00	18:00 - 21:00			18:00 - 21:00								
		W	M		W	M		W	M		W/QF	M/QF		W/SF	M/SF		W/F(1)	M	M/F(1)			2	

注：M=男子, W=女子, QF=準々決勝, SF=準決勝, F=決勝 (メダル数)

競技日

決勝

表 8.1 - 競技日程

競技	種別	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	金メダル数計		
		(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)			
		-2	-1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16			
体操	体操				11:00 - 13:20 15:30 - 18:00 20:00 - 22:10	9:30 - 12:40 14:45 - 17:55 20:00 - 21:25		18:30 - 21:00	19:00 - 21:00	18:30 - 21:00		19:00 - 21:00		17:00 - 21:00	17:00 - 21:00							14	
	新体操				M	W	M/F(1)	W/F(1)		M/F(1)		W/F(1)		M/W/F(5)	M/W/F(5)							2	
	トランポリン								14:00 - 15:30 16:00 - 16:30			14:00 - 15:30 16:00 - 16:30										2	
ゴルフ									9:00-15:00	M	9:00-15:00	9:00-15:00	9:00-15:00		9:00-15:00	9:00-15:00	9:00-15:00	9:00-15:00	9:00-15:00	9:00-15:00	9:00-15:00	2	
ハンドボール					09:00 - 12:15 14:00 - 17:15 19:00 - 22:15	09:00 - 12:15 14:00 - 17:15 19:00 - 22:15	09:00 - 12:15 14:00 - 17:15 19:00 - 22:15	12:00 - 16:15 18:00 - 22:15	12:00 - 16:15 18:00 - 22:15	12:00 - 16:15 18:00 - 22:15	12:00 - 16:15 18:00 - 22:15	12:00 - 16:15 18:00 - 22:15	12:00 - 16:15 18:00 - 22:15	08:00 - 12:15 13:30 - 18:30	08:00 - 12:15 13:30 - 18:30	2							
ホッケー						08:30 - 12:00 18:30 - 22:30	08:30 - 12:00 18:30 - 22:30	08:30 - 12:00 18:30 - 22:30	08:30 - 12:00 18:30 - 22:30	08:30 - 13:00 18:00 - 22:30	2												
柔道					12:00 - 16:30 18:00 - 19:30										14								
近代五種	フェンシング																				09:00 - 12:00 13:20 - 19:00	09:00 - 12:00 13:20 - 19:00	2
	水泳、馬術、ランニング、射撃																					M/F(1) W/F(1)	2
ボート				09:30 - 14:30	09:30 - 12:10	09:30 - 11:10	09:30 - 13:00	09:30 - 13:10	09:30 - 13:10		09:30 - 13:10	09:30 - 13:10										14	
ラグビー					10:30 - 19:30	10:30 - 19:30																2	
セーリング					12:00 - 18:00	12:00 - 18:00	12:00 - 18:00	12:00 - 18:00	12:00 - 18:00	12:00 - 18:00	12:00 - 18:00	12:00 - 18:00	12:00 - 18:20	12:00 - 18:20	12:00 - 18:20	12:00 - 18:10	12:00 - 18:10	12:00 - 18:10	12:00 - 18:10	12:00 - 18:10	12:00 - 18:10	10	
射撃	ライフル				08:30 - 16:00	09:00 - 13:00	09:00 - 13:00	09:00 - 13:00	09:00 - 16:00	09:00 - 13:30	09:00 - 15:00	09:00 - 13:30	09:00 - 14:30									10	
	クレー				09:00 - 13:30	09:00 - 16:15	09:00 - 16:15	09:00 - 16:15		09:00 - 16:15	09:00 - 13:30	09:00 - 16:15										5	
卓球								9:00 - 12:45 14:30 - 17:30 19:00 - 22:00	9:00 - 12:00 13:30 - 16:30 18:00 - 22:00		10:00 - 14:00 15:30 - 17:30 19:00 - 21:00	10:00 - 14:00 16:00 - 18:00 20:00 - 22:00	10:00 - 12:00 14:30 - 16:30 19:30 - 23:00	10:00 - 12:00 14:30 - 16:30 19:30 - 23:00	10:00 - 13:00 14:30 - 17:30 19:00 - 22:00	10:00 - 13:00 14:30 - 17:30 19:00 - 22:00	10:00 - 13:00 14:30 - 17:30 19:00 - 22:00	11:00 - 14:00 15:30 - 18:30	11:00 - 14:00 15:30 - 18:30	11:00 - 14:00 15:30 - 18:30	4		
テコンドー																09:00 - 13:00 15:00 - 21:00	09:00 - 13:00 15:00 - 21:00	8					
テニス					11:30 - 20:00 12:00 - 20:00 12:00 - 20:00	12:00 - 20:00 12:00 - 20:00 12:00 - 20:00	12:00 - 20:30 14:00 - 20:30	12:00 - 20:30 14:00 - 20:30									5						
トライアスロン															10:00 - 12:40 W/F(1)	10:00 - 12:30 M/F(1)						2	
バレーボール	インドア				09:00 - 12:30 14:30 - 18:00 20:00 - 23:30	09:00 - 12:30 14:30 - 18:00 20:00 - 23:30	09:00 - 12:30 14:30 - 18:00 20:00 - 23:30	14:00 - 17:30 19:30 - 23:00	14:00 - 17:30 19:30 - 23:00	15:00 - 16:30 19:30 - 21:00	9:30 - 11:00 13:00 - 15:10	2											
	ビーチバレーボール				9:00 - 12:50 14:30 - 18:20 20:00 - 23:50	09:00 - 10:50 13:00 - 14:50 17:00 - 18:50 21:00 - 22:50	09:00 - 10:50 13:00 - 14:50 17:00 - 18:50 21:00 - 22:50		17:00 - 18:50 21:00 - 22:50	17:00 - 18:50 21:00 - 22:50	17:00 - 18:50 21:00 - 22:50	19:00 - 22:30 19:00 - 22:30				2							
ウエイトリフティング					10:00 - 14:00 15:30 - 17:30 19:00 - 21:00	10:00 - 14:00 15:30 - 17:30 19:00 - 21:00	10:00 - 14:00 15:30 - 17:30 19:00 - 21:00	10:00 - 14:00 15:30 - 17:30 19:00 - 21:00	10:00 - 14:00 15:30 - 17:30 19:00 - 21:00	10:00 - 14:00 15:30 - 17:30 19:00 - 21:00	10:00 - 14:00 15:30 - 17:30 19:00 - 21:00	10:00 - 14:00 15:30 - 17:30 19:00 - 21:00	10:00 - 14:00 15:30 - 17:30 19:00 - 21:00	15									
レスリング					09:30 - 13:00 16:00 - 19:00	09:30 - 13:00 16:00 - 19:00	09:30 - 13:00 16:00 - 19:00	09:30 - 13:00 16:00 - 19:45		09:30 - 12:00 16:00 - 18:30		09:30 - 12:00 16:00 - 18:30		09:30 - 12:00 16:00 - 19:00	09:30 - 13:00 16:00 - 19:00	18							
金メダル数計:		0	0	0	11	16	16	21	19	19	23	21	25	20	19	15	23	17	30	11	306		

注：M=男子, W=女子, QF=準々決勝, SF=準決勝, F=決勝 (メダル数)

競技日

決勝

8.2 テストイベント

テストイベントの実施期間を明記してください。

競技別／種別ごとにテストイベント予定の年月と会場を記入してください。

大会に向けての万全の準備

オリンピック憲章、立候補都市に対するIOCの指示及び各国際競技連盟の管理のもと、大会組織委員会はオリンピック競技大会の前に実際の大会で使用予定の競技会場を使って可能な限り本番に近い状態でテストイベントを開催する。

テストイベントは、競技会場、競技運営、競技に関わる技術及びボランティアを含む要員、輸送、セキュリティ、技術システム等の運営を円滑に行うことを特に重視する。

テスト期間中に、大会の輸送システム、特に競技会場の輸送オペレーションのテストを、可能な限り多くの回数実施する。

加えて、より大規模なテストを追加的に実施し、公共交通、交通管理、選手輸送、メディア輸送、T3といった重要部分のテストを行う。最後に、開会式の輸送オペレーションに関しては、特別テストを計画する。

テストイベントでは、チームワークを試すとともに、運営全般にわたってその質を高めていく場とする。

テストイベントは原則として、オリンピック競技大会の2年～3ヶ月前に実施する。屋外のテストイベントは、可能な限り本番と同じ時期に合わせて行う。多種目にわたる複雑な大会の運営能力をテストするために、複数のテストイベントをクラスターやプリシнкт毎に、同時期に実施することも可能である。

テストイベントは大会までのコミュニケーション戦略のハイライトとなり、オリンピックムーブメントの中で、観客が一流のスポーツを体験する機会を広げてくれる。

会場建設日程は、テストイベント実施計画を考慮して設定される。

また、競技会場以外の施設及びすべての主要な施設（IBC/MPC、選手村、空港等）では、オリンピック競技大会前に、大会組織委員会が各施設の運営作業のテストを実施する。

表 8.2 - テストイベント

競技	種別	テストイベント	
		会場名	年月
アーチェリー		夢の島公園	2019年 7 - 8月
陸上競技		オリンピックスタジアム	2020年 2 - 4月
水泳	競泳	オリンピックアクアティクスセンター	2019年 8 - 9月
	飛込		2020年2月
	シンクロナイズドスイミング		2020年4月
	水球	ウォーターポロアリーナ	2020年3月
	マラソン10km	お台場海浜公園	2020年 3 - 4月
バドミントン		夢の島ユース・プラザ・アリーナA	2019年 7 - 8月
バスケットボール		夢の島ユース・プラザ・アリーナB	2019年 7 - 8月
ボクシング		国技館	2019年 7 - 8月
カヌー	スプリント	海の森水上競技場	2019年 7 - 8月
	スラローム	葛西臨海公園	2019年 7 - 8月
自転車競技	トラック・レース	有明ベロドローム	2020年 1 - 2月
	ロード・レース (スタート)	皇居外苑	2019年 7 - 8月
	ロード・レース (ゴール)	武蔵野の森公園	
	マウンテンバイク	海の森マウンテンバイクコース	2019年 7 - 8月
	BMX	有明BMXコース	2019年 7 - 8月
馬術		夢の島競技場	2019年 7 - 8月
		海の森クロスカントリーコース	
フェンシング		東京ビッグサイト・ホールB	2019年10-11月
サッカー		オリンピックスタジアム	2019年11-12月
体操		有明体操競技場	2020年4月
ゴルフ		霞ヶ関カンツリー倶楽部	2019年 7 - 8月
ハンドボール		国立代々木競技場	2019年 7 - 8月
ホッケー		大井ホッケー競技場	2019年 7 - 8月
柔道		日本武道館	2019年11-12月
近代五種	フェンシング	武蔵野の森総合スポーツ施設	2019年 8 -10月
	水泳、馬術、ランニング、射撃	東京スタジアム	
ボート		海の森水上競技場	2019年 7 - 8月
ラグビー		オリンピックスタジアム	2019年 9 -10月
セーリング		若洲オリンピックマリーナ	2019年 7 - 8月
			2019年 7 - 8月
射撃		陸上自衛隊朝霞訓練場	2020年4月
卓球		東京体育館	2019年11-12月
テコンドー		東京ビッグサイト・ホールB	2019年10-11月
テニス		有明テニスの森	2019年10-11月
トライアスロン		お台場海浜公園	2019年 9 -10月
バレーボール	インドア	有明アリーナ	2019年11-12月
	ビーチバレーボール	潮風公園	2019年 7 - 8月
ウエイトリフティング		東京国際フォーラム	2020年 1 - 2月
レスリング		東京ビッグサイト・ホールA	2019年10-11月



## 8.3 要員確保

遂行しなければならない様々な職務全般を考慮した上で、競技運営に必要な要員を確保するために、どのような資源を活用しますか。

そのために、すでに何らかの措置を講じていますか。

貴国であまり人気のないオリンピック競技について、役員やボランティアの訓練のために行う対策を説明してください。

2020年東京大会には、各競技の運営管理の知識をもつ専門的な人材確保が必要である。同時に、「2020年の東京」に従って、大会の管理運営専門家の育成にも尽力し、スポーツの持つ力を活かしていく。これにより大会要員プログラムの基礎をつくり、モチベーションを高めていく。

## 適材の確保

## 専門的人材の確保

東京以外にも日本では過去10年間に世界選手権やワールドカップなどさまざまな大会を開催しており、2020年大会では各スポーツ分野の専門家が多数起用される。日本には、サッカー、バスケットボール、バレーボール等様々なプロスポーツや大規模アマチュア組織があり、競技運営の専門家が多数そろっている。以下の組織から、多くの人材を確保することが可能である。

- ・国内競技連盟(NF)
- ・日本オリンピック委員会(JOC)
- ・日本パラリンピック委員会(JPC)
- ・日本体育協会(JASA)
- ・東京都体育協会(TAAA)

常勤、非常勤に関わらずこれらの専門家たちを早い段階から大いに活用する。

また、大会組織委員会は、オリンピック又はパラリンピックの経験者から国際大会に関する専門的人材を確保する。こうした人材の強化は2020年東京大会招致で既に行われており、外資系企業や海外の専門家を広く受け入れるという「2020年の東京」の目的に組み込まれている。

大会組織委員会は、2014年ソチ大会(冬季)、2016年リオデジャネイロ大会、2018年平昌大会(冬季)までに、IOCと連携して専門的人材も強化する予定であり、海外交換留学システムやインターンシップを拡充して3,000人の若者を海外へ派遣し、世界に通用する人材育成の支援を「2020年の東京」の中で進めていく。

エネルギー関連、金融機関、広告代理店、マーケティング、輸送・旅行関連などの分野で、国内外の大会の開催運営をサポートし、成功を支えてきた専門的人材があり、大会組織委員会は必要に応じてこれらの人材を確保する。

## ボランティア

2020年東京大会規模の競技大会の運営には、専門家に加え、多くのボランティアの参加が不可欠である。ボランティアは大会の顔として、観客、大会関係者に「2020年の東京」のコンセプトを浸透させ、この湧き立つ大都市で「未来をつかもう(Discover Tomorrow)」ための案内をしてもらう。

日本では障害者スポーツ団体を含む各種スポーツ団体の主導の下、4,000万人以上の一般スポーツ愛好家があり、スポーツイベントの管理運営のあらゆる面で豊富なボランティア、資格を持った専門家、インストラクターを確保することができる。

東京マラソンのような単独競技の大会でも、高校生、大学生を含む10,000人以上のボランティアが、大会の運営や観衆の整理をサポートしている。その結果、毎年200万人程の観客が整然と行動している。

また、東京オリンピックでは、都内435の高校、138の大学からボランティアのサポートを受けることができる。これらの学校は100万人以上の学生を抱えており、教育の一環としてボランティア参加を奨励している。オリンピック開催期間が学生の夏期休暇期間中であることから、バイリンガルの語学力をもつ多くの学生ボランティアが参加しやすい状況となっている。

東京都ではボランティアを支援するため、東京ボランティア・市民活動センターを設置している。ここではボランティア希望者に対し情報提供を行い、積極的な参加を促している。

東京都の策定した「2020年の東京」では、8つある目標の一つとして誰もがチャレンジできる社会を創ることを目指し、10年以上をかけてボランティアやNPOなど個人や組織が責任ある役割を担うシステムを構築している。また、東京都では1996年に語学ボランティア、2002年に観光ボランティア制度を創設し、海外からの訪問者のニーズに対応できる体制も整えてきている。

## 研修

日本では毎年各種スポーツの競技大会が多数開催され、競技役員、ボランティアとも2020年東京大会に向け、十分な経験を積むことができるが、大会組織委員会は今後、管理部門とボランティアの両方を対象に、特別プログラム及びテストイベントをはじめとする大会の開催を通して、さらなる人材育成を実施していく。審査員、審判、技術要員の研修は国内外の各スポーツ連盟と協力して実施する予定である。

2020年東京大会は、情報技術や関連機器の開発における世界トップレベルの日本の地位を活かすことで、研修プログラムを充実させるまたとない機会を提供する。

## 専門的人材の拡充

日本であまり注目されない夏季オリンピック競技のため、2020年東京大会では国内外の各スポーツ連盟と緊密に協力して、テストイベント実施に合わせ競技運営と会場運営に関わる雇用と研修プログラムを充実させていく。2016年リオデジャネイロ大会は重要な視察の場であるとともに、サポートが不十分なスポーツの実施についてボランティアを含め要員に多くを学んでもらうインターンシップの機会にもなる。

このようなスポーツについては、テストイベントの実施も、そのスポーツについての知識や興味を広めるための重要なコミュニケーションの手段である。





オリンピックスタジアム外観イメージ図  
新国立競技場基本構想国際デザイン・コンクールにおける最優秀受賞作品

#### 8.4 競技大会の開催実績

貴都市及び貴国で過去10年間に開催された国際的な総合競技大会及びオリンピック夏季競技種目に対応する世界選手権をすべて一覧表にしてください。  
2020年までに貴地域でオリンピック夏季競技種目の世界選手権及び総合競技大会の開催が認められたものはありますか、あるとしたらそれはどのような大会ですか。  
貴都市及び貴国で過去10年間に開催されたオリンピック夏季競技種目の大規模な国際競技大会を競技大会のレベル(世界選手権、総合競技大会、大陸選手権、その他の国際的イベント)に従って、表8.4に(必ずCD-ROMにエクセル形式で)記入してください。  
オリンピック競技大会で使用予定の会場で開催された大会は(太字で)表示してください。

#### 豊富な開催実績に基づく大会

日本では、毎年数多くのスポーツ大会が開催されており、東京でも多数の実績がある。また、過去10年に、日本は様々な世界選手権も開催してきた。日本の優れたインフラ、最先端の競技施設、緻密な大会運営、数多くのボランティアの協力等によって、今後とも国際競技大会等が成功裡に開催されていくことであろう。

また、卓球世界選手権団体戦(2014年)、ラグビーワールドカップ(2019年)等の大会が、これまでと同様の質の高さで成功することであろう。

CD-ROM 表8.4を参照

#### 8.5 会場

表8.5に以下の情報を記入してください。

- ・予定されるすべての競技会場
- ・総座席数及び立見席数
- ・大会後の座席数
- ・予定される練習会場の数

#### 会場の概要

東京は大会のコンセプトである「コンパクト」に沿ってその過去と未来が独特な形で融合され、過去の遺産を守りながら、未来に向かって「未来をつかむ(Discover Tomorrow)」ことができる都市であることを世界に示している。会場は1964年東京大会のレガシーが残るヘリテッジゾーンと、未来の都市開発モデルである東京ベイゾーンという2つのテーマ及び運営ゾーンに位置する。東京圏にある33の競技会場のうち28会場は選手村から半径8km圏内にあり、選手のことを最優先に考えた、極めてコンパクトな配置となっている。

計画されている37の競技会場のうち15会場(41%)は既存のものであり、その中の2会場は2020年大会のために恒久的な改修が必要

となる。既存会場のうち3会場は1964年大会の時に整備されたものであり、当時水泳とバスケットボールの会場だった国立代々木競技場は2020年ではハンドボールの会場に、体操や水球が行われた東京体育館は卓球の会場、日本武道館は1964年と同様2020年も柔道の会場として利用される。

2020年大会に向けて建設が予定されている競技会場は、総競技会場数のうち22会場(59%)であり、そのうちの11会場は東京のレガシーとして残す計画である。こうした恒久施設のうち、1964年のオリンピックスタジアムであった国立霞ヶ丘競技場は、テストイベントが行われる2019年までの完成を予定しており、2020年大会では開閉会式、陸上競技、サッカー及びラグビーの会場となる。武蔵野の森総合スポーツ施設は、東京西部の多摩地域に2016年の完成を目指しており、2020年大会では近代五種が行われる予定である。

会場の選定、建設状況及び立地は、東京の中長期計画「2020年の東京」を中心に、社会、開発、持続可能性に関わる東京都の計画に合わせるとともに、2020年東京大会を選手重視のコンパクトな大会にすることを旨とする。

表 8.5 - オリンピック競技会場

競技/種別	競技会場							練習会場数			
	会場番号	会場名	ゾーン名	座席数	立見席	総座席数	大会後座席数	FOP利用	FOP隣接	その他の練習会場	
アーチェリー	25	夢の島公園	東京ベイ	7,000	0	7,000	0	1	0	0	
陸上競技	1	オリンピックスタジアム	ヘリテッジ	80,000	0	80,000	80,000	0	1	4	
水泳	競泳、飛込、シンクロナイズドスイミング	27	オリンピックアクアティクスセンター	東京ベイ	20,000	0	20,000	5,000	1	1	3
		28	ウォーターポロアリーナ		6,500	0	6,500	0	0	1	1
	水球	27	オリンピックアクアティクスセンター	東京ベイ	20,000	0	20,000	5,000	1	1	3
マラソン 10km	13	お台場海浜公園	東京ベイ	10,000	0	10,000	0	0	0	4	
バドミントン	23	夢の島ユース・プラザ・アリーナA	東京ベイ	7,000	0	7,000	5,700	0	0	2	
バスケットボール	24	夢の島ユース・プラザ・アリーナB	東京ベイ	18,000	0	18,000	16,300	0	0	3	
ボクシング	7	国技館	ヘリテッジ	10,000	0	10,000	10,000	0	0	1	
カヌー	スプリント	19	海の森水上競技場	東京ベイ	14,000	10,000	24,000	2,000	0	1	0
	スラローム	22	葛西臨海公園	東京ベイ	12,000	3,000	15,000	0	0	1	0
自転車競技	トラック・レース	10	有明ベロドローム	東京ベイ	5,000	0	5,000	0	1	0	0
	ロード・レース(スタート)	5	皇居外苑	ヘリテッジ	1,000	0	1,000	0	0	0	1
	ロード・レース(ゴール)	31	武蔵野の森公園	-	1,000	0	1,000	0	0	0	1
	マウンテンバイク	20	海の森マウンテンバイクコース	東京ベイ	2,000	23,000	25,000	0	1	0	0
	BMX	9	有明BMXコース	東京ベイ	5,000	0	5,000	0	1	0	0
馬術	馬場馬術、障害馬術、総合馬術	26	夢の島競技場	東京ベイ	14,000	0	14,000	2,300	0	1	0
	総合馬術(クロスカントリー)	18	海の森クロスカントリーコース	東京ベイ	0	20,000	20,000	0	0	1	0
フェンシング	16	東京ビッグサイト・ホールB	東京ベイ	8,000	0	8,000	0	0	1	0	
サッカー	1	オリンピックスタジアム	ヘリテッジ	80,000	0	80,000	80,000	0	0	2	
	30	東京スタジアム	-	50,000	0	50,000	50,000	0	0	2	
	34	札幌ドーム	-	41,000	0	41,000	41,000	0	0	2	
	35	宮城スタジアム	-	50,000	0	50,000	50,000	0	0	1	
	36	埼玉スタジアム2002	-	64,000	0	64,000	64,000	0	1	0	
	37	横浜国際総合競技場	-	72,000	0	72,000	72,000	0	0	2	
体操	11	有明体操競技場	東京ベイ	12,000	0	12,000	0	0	0	7	
ゴルフ	33	霞ヶ関カントリー倶楽部	-	1,000	24,000	25,000	0	0	1	0	
ハンドボール	3	国立代々木競技場	ヘリテッジ	12,000	0	12,000	9,200	0	0	4	
ホッケー	17	大井ホッケー競技場	東京ベイ	10,000	0	10,000	4,000	0	1	0	
				5,000	0	5,000	0	-	-	-	
柔道	4	日本武道館	ヘリテッジ	11,000	0	11,000	11,000	0	0	2	
近代五種	フェンシング	29	武蔵の森総合スポーツ施設	-	8,000	0	8,000	6,600	0	1	0
	水泳、馬術、ランニング、射撃	30	東京スタジアム	-	50,000	0	50,000	50,000	0	2	0
ボート	19	海の森水上競技場	東京ベイ	14,000	10,000	24,000	2,000	0	1	0	
ラグビー	1	オリンピックスタジアム	ヘリテッジ	80,000	0	80,000	80,000	0	0	1	
セーリング	21	若洲オリンピックマリーナ	東京ベイ	2,000	3,000	5,000	0	1	0	0	
射撃	ライフル	32	陸上自衛隊朝霞訓練場	-	4,600	0	4,600	0	1	0	0
	クレー			-	3,000	0	3,000	0	1	0	0
卓球	2	東京体育館	ヘリテッジ	8,000	0	8,000	6,000	0	0	1	
テコンドー	16	東京ビッグサイト・ホールB	東京ベイ	9,000	0	9,000	0	0	0	3	
テニス		有明テニスの森	東京ベイ	10,000	0	10,000	10,000	0	1	0	
				5,000	0	5,000	5,000	-	-	-	
				3,000	0	3,000	1,000	-	-	-	
				2,500	0	2,500	0	-	-	-	
トライアスロン	13	お台場海浜公園	東京ベイ	10,000	0	10,000	0	1	0	1	
バレーボール	インドア	8	有明アリーナ	東京ベイ	15,000	0	15,000	12,700	0	0	1
	ビーチバレーボール	14	潮風公園	東京ベイ	12,000	0	12,000	0	0	1	0
ウエイトリフティング	6	東京国際フォーラム	ヘリテッジ	5,000	0	5,000	5,000	0	1	0	
レスリング	15	東京ビッグサイト・ホールA	東京ベイ	10,000	0	10,000	0	0	0	3	

競技会場数計：37



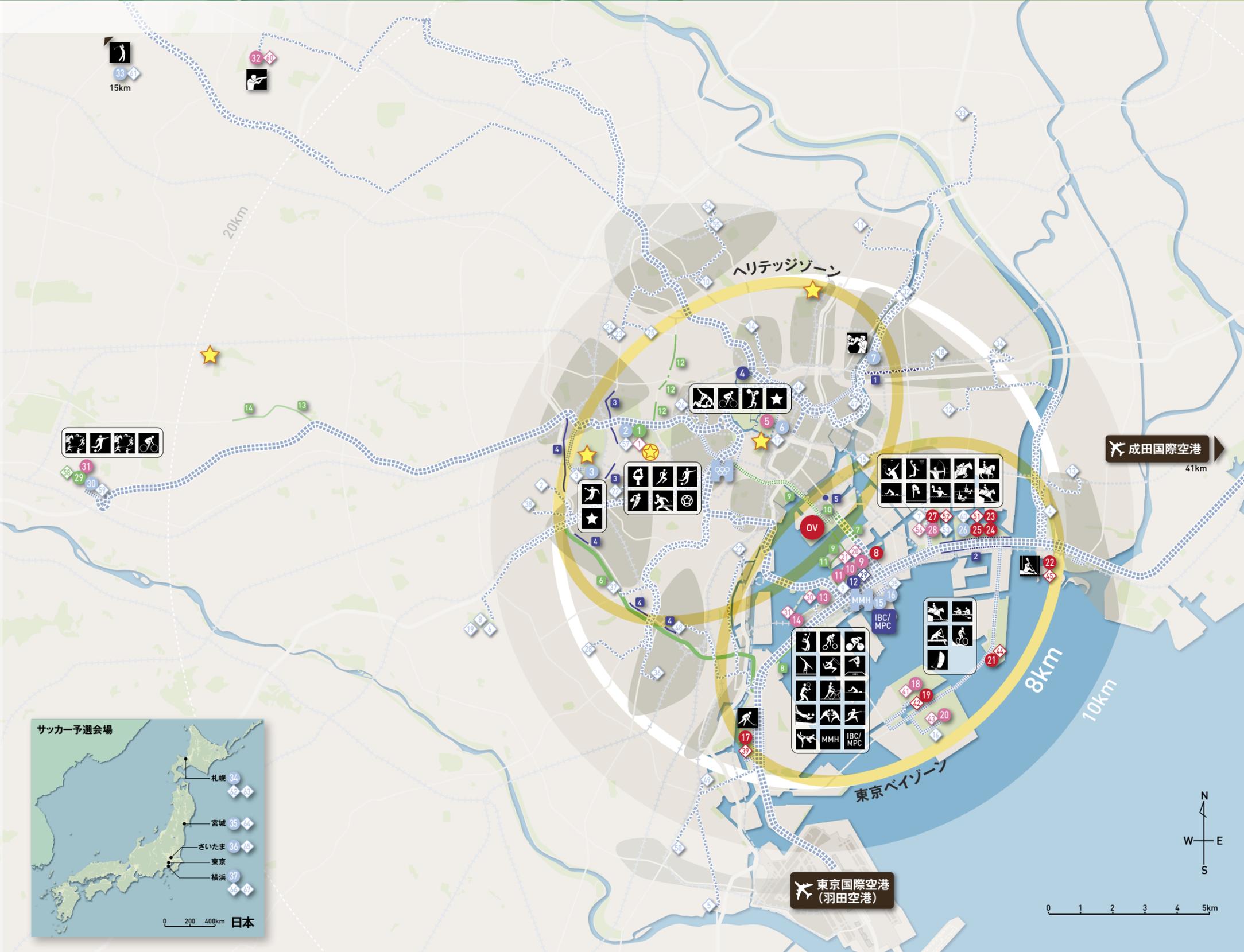
8.6 地図 B - 会場配置及び輸送インフラ地図

- ヘリテッジゾーン**
- 1 開閉会式
  - 2 卓球
  - 3 ハンドボール
  - 4 柔道
  - 5 自転車競技 (ロードレース スタート)
  - 6 ウェイトリフティング
  - 7 ボクシング
  - 8 陸上競技
  - 9
  - 10
  - 11
  - 12
  - 13
  - 14
  - 15
  - 16
  - 17
  - 18

- 東京ベイゾーン**
- 8 バレーボール
  - 9 自転車競技 (BMX)
  - 10 自転車競技 (トラックレース)
  - 11 体操 (体操)
  - 12 テニス
  - 13 トライアスロン
  - 14 水泳 (マラソン 10km)
  - 15 ビーチバレーボール
  - 16 レスリング
  - 17 フェンシング
  - 18 テコンドー
  - 19 ホッケー
  - 18 馬術 (総合馬術)
  - 19 ボート
  - 20 カヌー (スプリント)
  - 20 自転車競技 (マウンテンバイク)
  - 21 セーリング
  - 22 カヌー (スラローム)
  - 23 バドミントン
  - 24 バスケットボール
  - 25 アーチェリー
  - 26 馬術 (障害馬術)
  - 27 馬術 (馬場馬術)
  - 28 馬術 (総合馬術)
  - 27 水泳 (競泳)
  - 28 水泳 (飛込)
  - 29 水泳 (シンクロノイズドスイミング)
  - 28 水泳 (水球)

- その他**
- 29 近代五種 (フェンシング)
  - 30 サッカー
  - 31 近代五種 (水泳、馬術、ランニング、射撃)
  - 32 自転車競技 (ロードレース ゴール)
  - 32 射撃
  - 33 ゴルフ
  - 34 サッカー
  - 35 サッカー
  - 36 サッカー
  - 37 サッカー

- OV 選手村
- IOCホテル
- オリンピック・ホスピタリティ・サイト
- ライブサイト
- MMH 主要メディアホテル
- IBC/MPC 国際放送センター/メインプレスセンター
- 競技会場
- 練習会場
- ホテルプール
- 輸送 (表13.6)



**道路**

- 高速道路
- 主要幹線道路

**鉄道**

- 郊外鉄道
- 地下鉄
- 中量軌道システム

**カラーコード**

- 既存 (改修工事なし)
- 既存 (改修工事あり)
- 計画
- 新設 (大会開催のため)
- 仮設

**オリンピック・レーン**

- オリンピック・プライオリティルート

ヘリテッジゾーン



東京国際フォーラム

皇居外苑

日本武道館

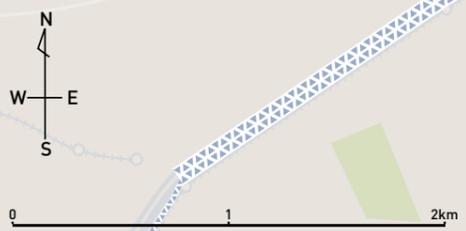
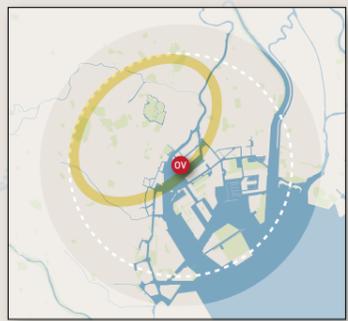
皇居地区

8.6 地図 B1 - ヘリテッジゾーン

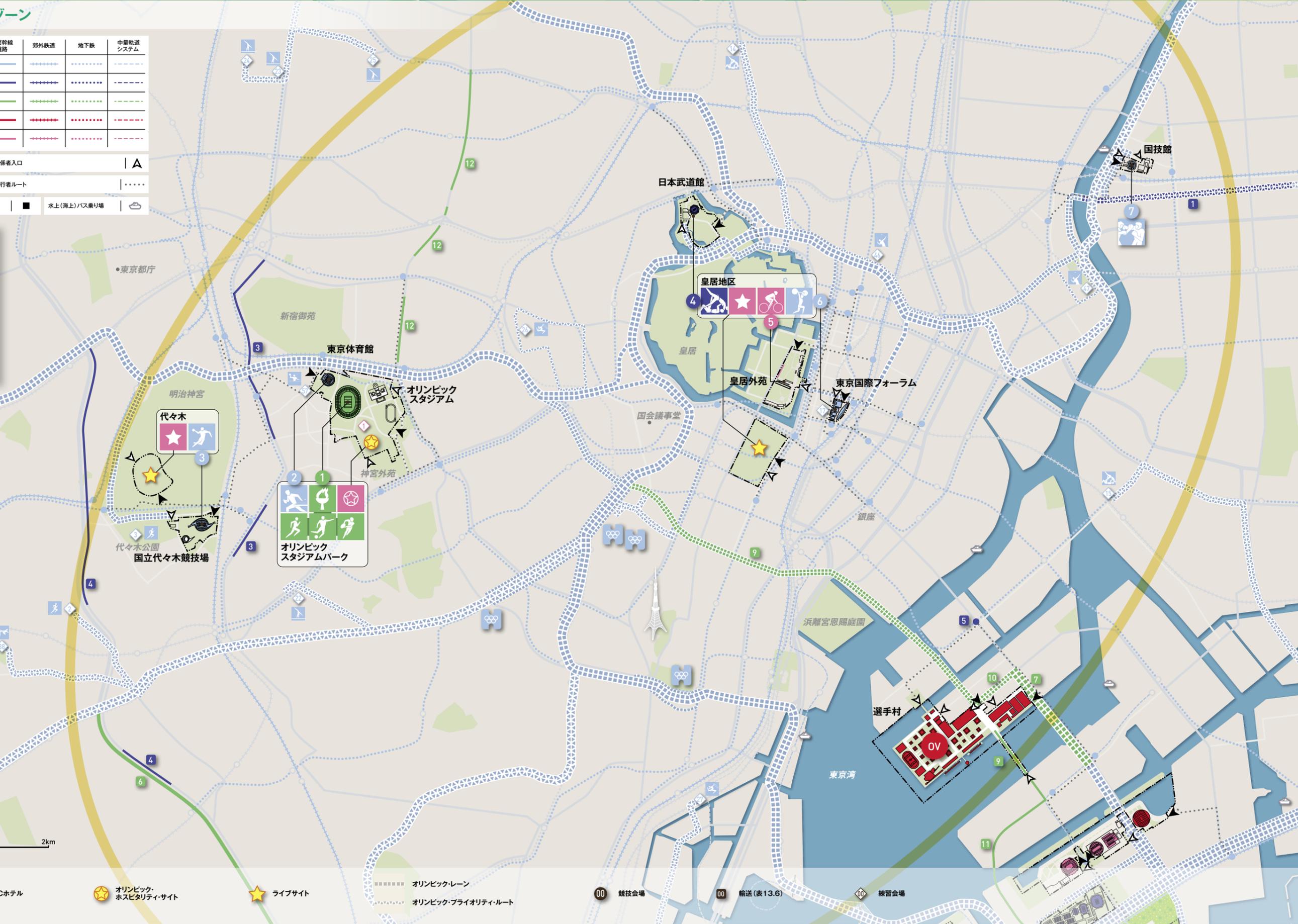
インフラ	競技会場	高速道路	主要幹線道路	郊外鉄道	地下鉄	中量軌道システム
既存(改修工事なし)						
既存(改修工事あり)						
計画						
新設						
仮設						

観客入口		関係者入口	
セキュリティライン		歩行者ルート	
最寄り駅		最寄りバスターミナル	
		水上(海上)バス乗り場	



- 選手村
- IOCホテル
- オリンピック・ホスピタリティ・サイト
- ライブサイト
- オリンピック・レーン
- オリンピック・プライオリティ・ルート
- 競技会場
- 輸送(表13.6)
- 練習会場





8.6 地図 B2 - 東京ベイゾーン

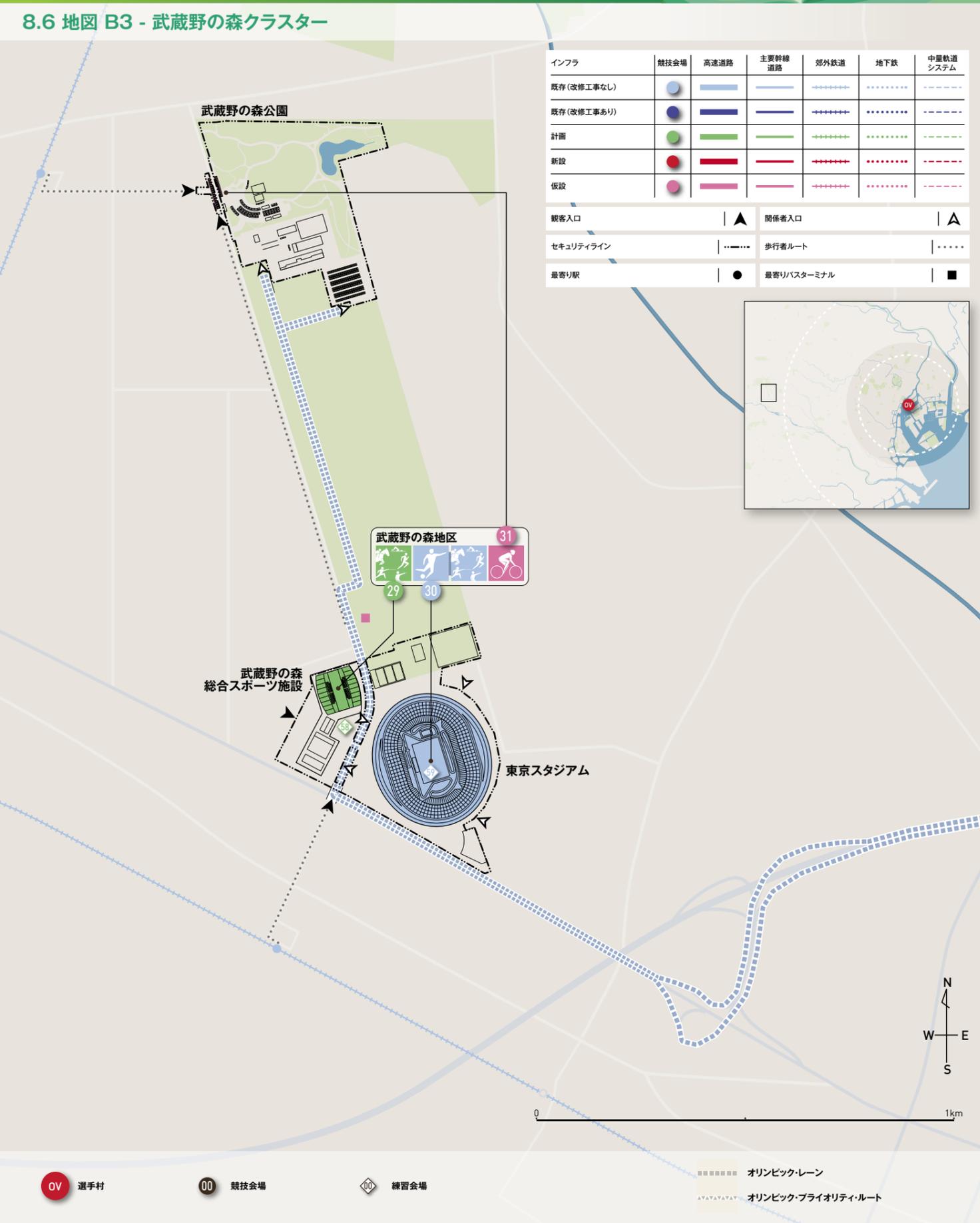


インフラ	競技会場	高速道路	主要幹線道路	郊外鉄道	地下鉄	中量軌道システム
既存(改修工事なし)	●	—	—	—	—	—
既存(改修工事あり)	●	—	—	—	—	—
計画	●	—	—	—	—	—
新設	●	—	—	—	—	—
仮設	●	—	—	—	—	—

観客入口	▲	関係者入口	▲
セキュリティライン	—	歩行者ルート	—
最寄り駅	●	最寄りバスターミナル	■
		水上(海上)バス乗り場	☒

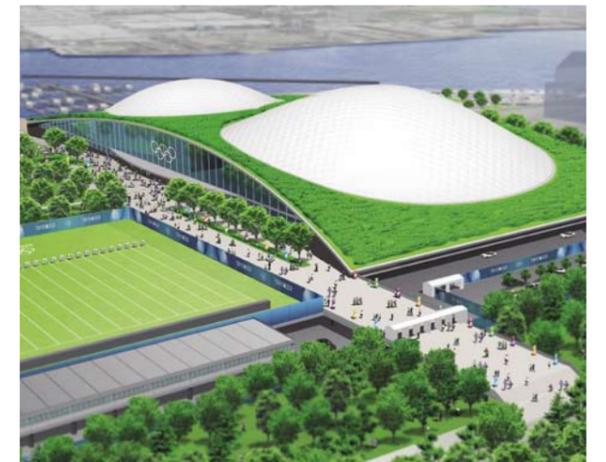
8.6 地図 B3 - 武蔵野の森クラスター



有明体操競技場



夢の島ユース・プラザ・アリーナ



有明アリーナ



8.7 会場の工事費

すべての競技会場、セレモニー会場、オリンピック選手村、メディア村及びIBCとMPCについて、表8.7に記入してください。  
候補都市は、会場の建設状況について以下に従って明示する必要があります。

表 8.7 会場の工事費

競技/種別	会場	建設状況	当初竣工	改修	建設工事費										総額 (億円)
					恒久工事					仮設/会場使用料					
					計	大会組織委員会		その他 (具体的に)		計	大会組織委員会		その他 (具体的に)		
						億円	%	億円	%		億円	%	億円	%	
陸上競技	オリンピックスタジアム	計画	-	-	1,300	0	0	1,300	100	38	38	100	0	0	1,338
サッカー															
ラグビー															
卓球	東京体育館	既存	1990.2	-	0	0	0	0	0	2	2	100	0	0	2
ハンドボール	国立代々木競技場	既存	1964.9	2007.8	0	0	0	0	0	15	15	100	0	0	15
柔道	日本武道館	既存(恒久工事あり)	1964.10	2001.3	39	0	0	39	100	4	4	100	0	0	43
自転車競技	ロード・レース(スタート)	皇居外苑	-	-	0	0	0	0	0	6	6	100	0	0	6
ウエイトリフティング	東京国際フォーラム	既存	1996.5	-	0	0	0	0	0	1	1	100	0	0	1
ボクシング	国技館	既存	1985.1	-	0	0	0	0	0	4	4	100	0	0	4
バレーボール	インドア	有明アリーナ	-	-	176	0	0	176	100	1	1	100	0	0	177
自転車競技	BMX	有明BMXコース	-	-	0	0	0	0	0	65	65	100	0	0	65
	トラック・レース	有明ベロドローム	-	-	0	0	0	0	0						
体操		有明体操競技場	-	-	0	0	0	0	0	89	89	100	0	0	89
テニス		有明テニスの森	1987.4	-	59	0	0	59	100	5	5	100	0	0	64
トライアスロン		お台場海浜公園	-	-	0	0	0	0	0	15	15	100	0	0	15
水泳	マラソン 10km														
バレーボール	ビーチバレーボール	潮風公園	-	-	0	0	0	0	0	12	12	100	0	0	12
レスリング		東京ビッグサイト・ホールA	1996.4	-	0	0	0	0	0	26	26	100	0	0	26
フェンシング		東京ビッグサイト・ホールB	1996.4	-	0	0	0	0	0						
テコンドー															
ホッケー		大井ホッケー競技場	-	-	25	0	0	25	100	21	21	100	0	0	46
馬術	総合馬術(クロスカントリー)	海の森クロスカントリーコース	-	-	0	0	0	0	100	20	20	100	0	0	20
ボート		海の森水上競技場	-	-	69	0	0	69	100	20	20	100	0	0	89
カヌー	スプリント														

表 8.7 会場の工事費

競技/種別	会場	建設状況	当初竣工	改修		建設工事費										総額 (億円)
						恒久工事					仮設/会場使用料					
						計	大会組織委員会		その他 (具体的に)		計	大会組織委員会		その他 (具体的に)		
							億円	%	億円	%		億円	%	億円	%	
自転車競技	マウンテンバイク	海の森マウンテンバイクコース	仮設	-	-	0	0	0	0	100	13	13	100	0	0	13
セーリング		若洲オリンピックマリナー	新規	-	-	92	0	0	92	100	8	8	100	0	0	100
									(東京都)							
カヌー	スラローム	葛西臨海公園	新規	-	-	24	0	0	24	100	8	8	100	0	0	32
									(東京都)							
バドミントン		夢の島ユース・プラザ・アリーナA	新規	-	-	364	0	0	364	100	5	5	100	0	0	369
バスケットボール		夢の島ユース・プラザ・アリーナB	新規	-	-											
アーチェリー		夢の島公園	新規	-	-	14	0	0	14	100	14	14	100	0	0	28
									(東京都)							
馬術	障害馬術、馬場馬術、総合馬術	夢の島競技場	既存	1995.7	-	0	0	0	0	0	35	35	100	0	0	35
水泳	競泳、飛込、 シンクロナイズドスイミング	オリンピックアクアティクスセンター	新規	-	-	321	0	0	321	100	76	76	100	0	0	397
									(東京都)							
	水球	ウォーターポロアリーナ	仮設	-	-	0	0	0	0	0						
近代五種	フェンシング	武蔵野の森総合スポーツ施設	計画	-	-	250	0	0	250	100	6	6	100	0	0	256
									(東京都)							
	水泳、馬術、ランニング、射撃	東京スタジアム	既存	2000.10	-	0	0	0	0	0						
サッカー																
自転車競技	ロード・レース(ゴール)	武蔵野の森公園	仮設	-	-	0	0	0	0	0	13	13	100	0	0	13
射撃		陸上自衛隊朝霞訓練場	仮設	-	-	0	0	0	0	0	44	44	100	0	0	44
ゴルフ		霞ヶ関カンツリー倶楽部	既存	1929.10	1992.8	0	0	0	0	0	9	9	100	0	0	9
サッカー		札幌ドーム	既存	2001.5	-	0	0	0	0	0	3	3	100	0	0	3
		宮城スタジアム	既存	2000.3	2012.7	0	0	0	0	0	3	3	100	0	0	3
		埼玉スタジアム2002	既存	2001.7	-	0	0	0	0	0	3	3	100	0	0	3
		横浜国際総合競技場	既存	1997.10	-	0	0	0	0	0	3	3	100	0	0	3
-		選手村	新規	-	-	954	0	0	954	100	103	103	100	0	0	1,057
									(民間)*							
-		IBC/MPC	既存(恒久工事あり)	1996.4	-	144	0	0	144	100	33	33	100	0	0	177
									(東京都)							

※今後、計画策定の進捗に応じて、内容調整の可能性がある。  
\* 詳細は10.5を参照

合計: 3,831 0 3,831 723 723 0 4,554

8.8 会場の用途

各競技会場及び練習会場について、表8.8に、以下の情報を記入してください。

各練習会場については表8.8 b)を利用して、エクセル形式の表で必ずCD-ROMにて提出してください。

表 8.8a - 競技会場の用途と所有者

競技会場		用途		所有者		管理者		会場保証書		IF同意			
競技/種別/種目 (イベント数)	種目数	会場名 (既存/新設)	現状	大会後	現在	大会後	現在	大会後	会場使用	商業権	IF名	既	未
ヘリテッジゾーン													
陸上競技、サッカー、ラグビー	47	オリンピックスタジアム(新設)	多目的スタジアム	多目的スタジアム	(独)日本スポーツ振興センター	(独)日本スポーツ振興センター	(独)日本スポーツ振興センター	(独)日本スポーツ振興センター	(独)日本スポーツ振興センター	(独)日本スポーツ振興センター	IAAF FIFA IRB	✓	✓
卓球	4	東京体育館(既存)	スポーツアリーナ	スポーツアリーナ	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	ITTF	✓	
ハンドボール	2	国立代々木競技場(既存)	スポーツアリーナ	スポーツアリーナ	(独)日本スポーツ振興センター	(独)日本スポーツ振興センター	(独)日本スポーツ振興センター	(独)日本スポーツ振興センター	(独)日本スポーツ振興センター	(独)日本スポーツ振興センター	IHF	✓	
柔道	14	日本武道館(既存)	武道場	武道場	(財)日本武道館	(財)日本武道館	(財)日本武道館	(財)日本武道館	(財)日本武道館	(財)日本武道館	IJF	✓	
自転車競技(ロードレーススタート)	2	皇居外苑(新設)	公共公園	公共公園	日本国政府	日本国政府	日本国政府	日本国政府	日本国政府	日本国政府	UCI	✓	
ウエイトリフティング	15	東京国際フォーラム(既存)	多目的会議場	多目的会議場	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	IWF	✓	
ボクシング	13	国技館(既存)	相撲場	相撲場	(財)日本相撲協会	(財)日本相撲協会	(財)日本相撲協会	(財)日本相撲協会	(財)日本相撲協会	(財)日本相撲協会	AIBA	✓	
東京ベイゾーン													
バレーボール	2	有明アリーナ(新設)	-	スポーツアリーナ	-	東京都	-	東京都	東京都	東京都	FIVB	✓	
自転車競技(BMX)	2	有明BMXコース(新設)	開発用地	開発用地	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	UCI	✓	
自転車競技(トラック・レース)	10	有明ベロドローム(新設)	開発用地	開発用地	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	UCI	✓	
体操	18	有明体操競技場(新設)	開発用地	開発用地	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	FIG	✓	
テニス	5	有明テニスの森(既存)	テニスコート	テニスコート	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	ITF	✓	
トライアスロン水泳(マラソン10km)	2	お台場海浜公園(新設)	公共公園	公共公園	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	ITU FINA	✓	
ビーチバレーボール	2	潮風公園(新設)	公共公園	公共公園	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	FIVB	✓	
レスリング	18	東京ビッグサイト・ホールA(既存)	展示会場	展示会場	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	FILA	✓	
フェンシング、テコンドー	10	東京ビッグサイト・ホールB(既存)	展示会場	展示会場	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	FIE WTF	✓	
ホッケー	2	大井ホッケー競技場(新設)	-	スポーツセンター	-	東京都	-	東京都	東京都	東京都	FIH	✓	
馬術(クロスカントリー)	-	海の森クロスカントリーコース(新設)	公共公園	公共公園	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	FEI	✓	
ボート、カヌー(スプリント)	14	海の森水上競技場(新設)	-	ボート、カヌー場	-	東京都	-	東京都	東京都	東京都	FISA ICF	✓	

表 8.8a - 競技会場の用途と所有者

競技会場		用途		所有者		管理者		会場保証書		IF同意			
競技/種別/種目 (イベント数)	種目数	会場名 (既存/新設)	現状	大会後	現在	大会後	現在	大会後	会場使用	商業権	IF名	既	未
自転車競技(マウンテンバイク)	2	海の森マウンテンバイクコース(新設)	開発用地	公共公園	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	UCI	✓	
セーリング	10	若洲オリンピックマリーナ(新設)	-	マリーナ	-	東京都	-	東京都	東京都	東京都	ISAF	✓	
カヌー(スラローム)	4	葛西臨海公園(新設)	-	カヌー場	-	東京都	-	東京都	東京都	東京都	ICF	✓	
バドミントン	5	夢の島ユース・プラザ・アリーナA(新設)	-	多目的アリーナ	-	東京都	-	東京都	東京都	東京都	BWF	✓	
バスケットボール	2	夢の島ユース・プラザ・アリーナB(新設)	-	多目的アリーナ	-	東京都	-	東京都	東京都	東京都	FIBA	✓	
アーチェリー	4	夢の島公園(新設)	-	アーチェリー場	-	東京都	-	東京都	東京都	東京都	WA	✓	
馬術(馬場馬術、障害馬術、総合馬術)	6	夢の島競技場(既存)	スポーツセンター	スポーツセンター	江東区	江東区	江東区	江東区	江東区	江東区	FEI	✓	
水泳(競泳、飛込、シンクロナイズドスイミング)	42	オリンピックアクアティクスセンター(新設)	-	水泳場	-	東京都	-	東京都	東京都	東京都	FINA	✓	
水泳(水球)	2	ウオーターポロアリーナ(新設)	公共公園	公共公園	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	FINA	✓	
その他													
近代五種(フェンシング)	-	武蔵野の森総合スポーツ施設(新設)	多目的スタジアム	多目的アリーナ	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	UIPM	✓	
サッカー、近代五種(水泳、馬術、ランニング、射撃)	-	東京スタジアム(既存)	多目的スタジアム	多目的スタジアム	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	FIFA UIPM	✓	
自転車競技(ロードレースゴール)	2	武蔵野の森公園(新設)	公共公園	公共公園	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	UCI	✓	
射撃	15	陸上自衛隊朝霞訓練場(新設)	陸上自衛隊訓練場	陸上自衛隊訓練場	日本国政府	日本国政府	日本国政府	日本国政府	日本国政府	日本国政府	ISSF	✓	
ゴルフ	2	霞ヶ関カンツリー倶楽部(既存)	ゴルフ場	ゴルフ場	(社)霞ヶ関カンツリー倶楽部	(社)霞ヶ関カンツリー倶楽部	(社)霞ヶ関カンツリー倶楽部	(社)霞ヶ関カンツリー倶楽部	(社)霞ヶ関カンツリー倶楽部	(社)霞ヶ関カンツリー倶楽部	IGF	✓	
サッカー	-	札幌ドーム(既存)	多目的ドーム	多目的ドーム	札幌市	札幌市	札幌市	札幌市	札幌市	札幌市	FIFA	✓	
サッカー	-	宮城スタジアム(既存)	多目的スタジアム	多目的スタジアム	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	FIFA	✓	
サッカー	-	埼玉スタジアム2002(既存)	多目的スタジアム	多目的スタジアム	埼玉県	埼玉県	埼玉県	埼玉県	埼玉県	埼玉県	FIFA	✓	
サッカー	1	横浜国際総合競技場(既存)	多目的スタジアム	多目的スタジアム	横浜市	横浜市	横浜市	横浜市	横浜市	横浜市	FIFA	✓	

表8.8b CD-ROM 表8.8bを参照

8.9 会場のレガシー利用

建設予定の新規会場(もしあれば、移転予定の会場も含む)については、以下の点を詳細に説明してください。

- ・大会後の会場の利用予定及び長期持続可能なビジネスプラン
- ・大会後の会場運営及び管理責任を有する大会後所有者

レガシー利用

総数37を予定する競技会場のうち、22会場(59%)が2020年東京大会のために建設予定であり、そのうち11会場が恒久施設の予定である。その恒久施設のうち2会場は2020年大会の招致結果に関係なく計画が進められている。残り11会場は仮設施設または移設可能施設である。

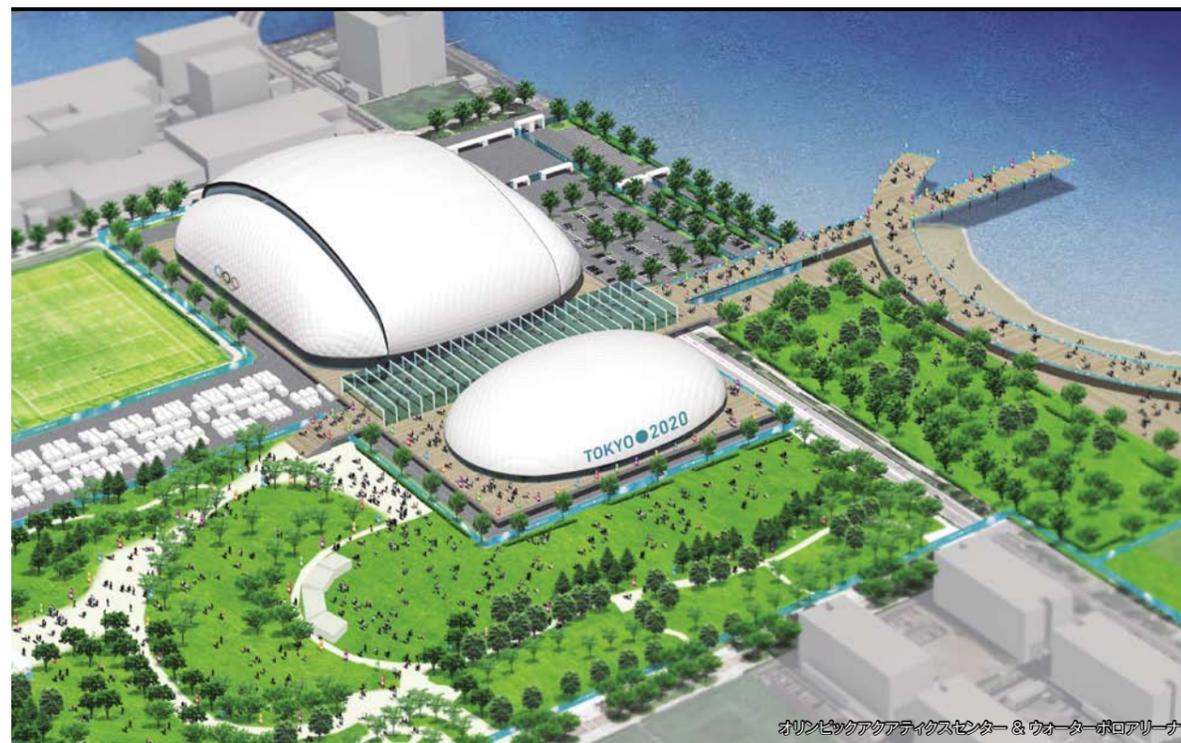
2020年大会で使用予定の2つの恒久施設は次の通りである。

- ・国立霞ヶ丘競技場は、1964年大会のオリンピックスタジアムであり、テストイベントが行われる2019年までに最新鋭の競技場に生まれ変わる予定である。2020年大会では、開・閉会式、陸上競技、サッカー、ラグビーの会場となる。この8万人収容のスタジアムは日本スポーツ振興センターが所有し、ラグビー、サッカーの国際試合や陸上競技の日本選手権など文化・スポーツ関連イベントに使用される予定である。神宮エリア内に位置し、4大クラスターの一つとして「2020年の東京」をもとに誰もがスポーツを楽しめる社会づくりを目指す。
- ・武蔵野の森総合スポーツ施設は、東京西部の多摩地域に計画中の施設であり、「2020年の東京」の中で4大クラスターの一つに位置づけられ、2016年に完成予定である。2020年大会では、体育館が近代五種の会場となり、東京に大いなるスポーツ・レガシーをもたらす。東京都が所有し、多摩地域のスポーツ振興の拠点として、地域スポーツから競技スポーツまで、幅広いイベントに使用されるほか、コンサートなどの文化イベントにも使用される。

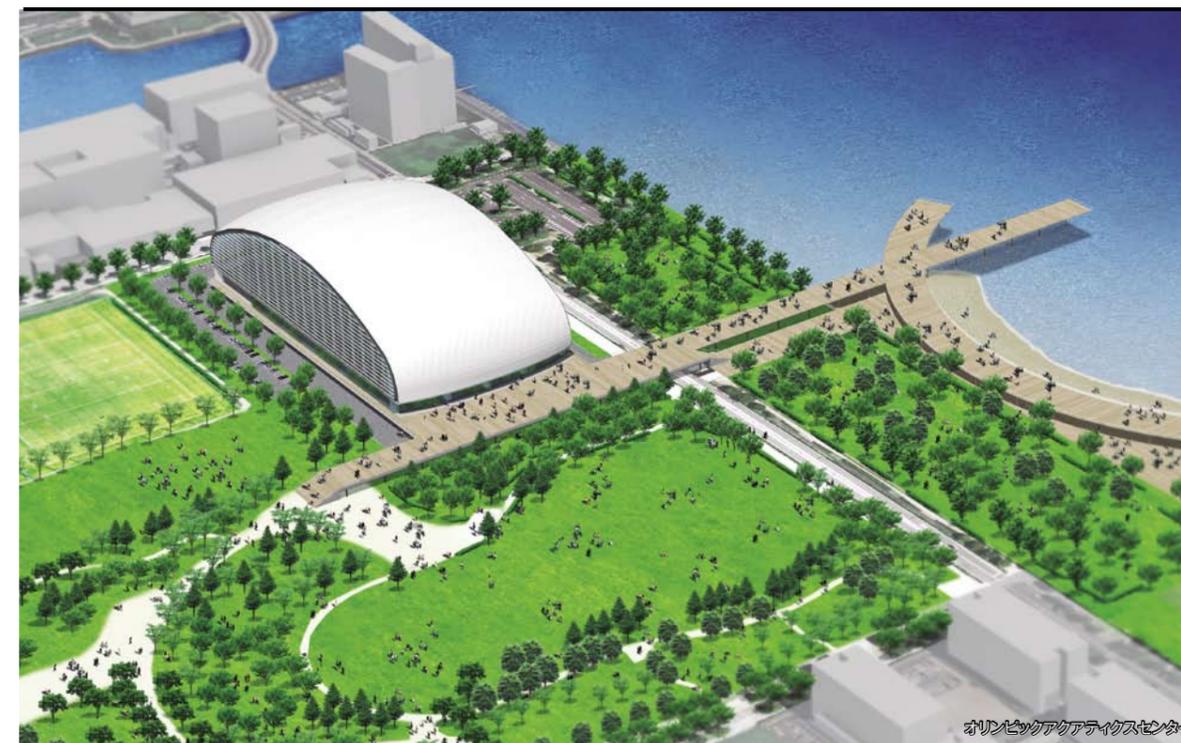
東京が2020年大会の開催都市となった場合、建設予定の残り9つの恒久施設は次の通りである。

- ・オリンピックアクアティクスセンターは、競泳・飛込・シンクロナイズドスイミングの会場となり、大会後は、収容可能人数を2万人から5000人に縮小して、利用しやすい規模の水泳場に改修する。大会後は、東京都が所有し、既存の辰巳国際水泳場同様、水泳各種別の都内選手権、日本選手権からジャパンオープン等の国際大会で使用するとともに、住民も使える水泳場となる。
- ・有明アリーナは、バレーボールの会場となり、大会後は、様々な室内競技大会やイベントを行うことができる大規模体育館となる。大会後は、注目を集めるバレーボールの国内リーグの会場となるほか、東京が、これまで多数開催してきたような、国際大会の際も使用される。東京都が所有するこのアリーナは、「2020年の東京」で臨海部の一部に含まれ、そのエリア内に有明テニスの森、オリンピックアクアティクスセンターに隣接する東京辰巳国際水泳場がある。会場の整備は臨海部の開発と並行して行われる。
- ・ユース・プラザ・アリーナAとBは、地域レベルの競技大会が行われる小規模な現ユースプラザを改修し、バドミントンとバスケットボールの会場となる。大会後は、東京都が所有し、様々な室内競技大会やイベントを行うことができる大規模総合体育館となる。大規模アリーナを二つ有する施設の特性を活かし、人気の高まっているバスケットボール、バドミントンなど室内競技の国内・国際大会も開催可能となる。また東京湾エリアの開発に合わせた臨海部に連なる競技会場の一部となる。
- ・夢の島公園は、アーチェリーの会場となり、大会後は、周辺の緑地を取り込み、国内及び国際競技大会が開催できるアーチェリー場が残る。大会後は、東京都が所有し、学生選手権、日本選手権などの会場となるほか、都内のアーチャーの日常的な活動拠点となる。レガシーとなる会場の一つであり、臨海部に連なる競技会場の一角を占めている。

大会期間



大会終了後



- ・海の森水上競技場は、ボート、カヌー(スプリント)の会場となり、将来、都民のレクリエーションの場、憩いの場にもなる。大会後は、東京都が所有する。東京ゲートブリッジが新設され、水辺の空間として都民に親しまれる場となる。2016年までに概成予定の海の森は、東京都が掲げる持続可能な緑化活動のシンボルである。
- ・若洲オリンピックマリナーは、日本有数のセーリング会場となる。大会後は、東京都が所有し、東京のみならず首都圏広域のセーリング競技の普及の拠点となる。
- ・カヌー(スラローム)の会場となる葛西スラロームコースは、年間来場者300万人を越える葛西臨海公園の中にあり、大会後は、カヌー競技のほか、ラフティングなどのレクリエーションにも使える施設が残る。東京都が所有し、広く地域の人々が、水辺に親しめる施設となる。
- ・1万人収容可能な大井サッカー競技場は、大井ふ頭中央海浜公園に新設予定であり、大会後は、4000人規模のサッカー場に改修される。大会後は、東京都が所有し、国内及び国際競技大会が開催できるサッカー場として、国内のサッカー普及、強化の拠点となる。

これら施設の大会後の用途については、国内の各競技団体と緊密に協力して決定する。

2020年大会のために仮設される残りの11会場については、再利用しやすいまたは移設しやすい建設方法を最大限採用する。また公共施設(国内の小中学校など)での再利用が見込める競技施設・競技インフラについては、移設の検討をおこなう。移設の有力候補は近代五種の仮設プールと有明ペドロームである。

8.10 公共機関の所有する会場

国家の諸機関が所有する競技会場及び競技会場以外の施設を、無償又は(IOCにより事前承認された)賃貸料にてOCOGが使用できるかどうか明記して、それぞれの機関からの保証書を提出してください。

公共機関が所有する競技会場

国及び地方自治体が所有する競技会場及び非競技会場については、無償又はIOCに事前承認された賃貸料等で大会組織委員会が使用できる旨、施設管理者と合意し、保証書の提出を得た。

保証については、保証ファイルを参照のこと。

8.11 配置図

配置図を提出してください。

CD-ROM 配置図を参照

8.12 会場開発

会場開発の責任者は誰ですか。新規会場の開発及び建設に責任を持つ会場担当当局を設置する計画がありますか。計画がある場合、その組織の名称及び内容を記入してください。

表 8.12 会場整備に係る責任とスケジュール

競技/種別	会場名	会場建設状況	オリンピックプロジェクトのために既に確保した土地の%	土地の集約(必要に応じて)	建設を認可する責任主体	恒久工事を発注する責任主体	オーバーレイ工事を発注する責任主体	建設スケジュール			OCOGへの会場引渡し日	
								恒久工事				
								開始日	完了日	継続期間		
アーチェリー	夢の島公園	新設	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2018/6	2019/5	330	2020/7	
陸上競技	オリンピックスタジアム	計画	100%	不要	東京都	(独)日本スポーツ振興センター	組織委員会	2015/10	2019/3	1,230	2020/7	
水泳	競泳、飛込、シンクロナイスドスイミング	オリンピックアクアティクスセンター	新設	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2016/10	2019/5	930	2020/7
	水球	ウォーターポロアリーナ	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
	マラソン10km	お台場海浜公園	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
バドミントン	夢の島ユース・プラザ・アリーナA	新設	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2016/10	2019/5	930	2020/7	
バスケットボール	夢の島ユース・プラザ・アリーナB	新設	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会					
ボクシング	国技館	既存	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
カヌー	スプリント	海の森水上競技場	新設	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2016/6	2019/5	1,050	2020/7
	スラローム	葛西臨海公園	新設	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2017/12	2019/5	510	2020/7
自転車競技	トラック・レース	有明ペドローム	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
	ロード・レース(スタート)	皇居外苑	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
	ロード・レース(ゴール)	武蔵野の森公園	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
	マウンテンバイク	海の森マウンテンバイクコース	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
	BMX	有明BMXコース	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
馬術	障害馬術、馬場馬術、総合馬術	夢の島競技場	既存	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
	総合馬術(クロスカントリー)	海の森クロスカントリーコース	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
フェンシング	東京ビッグサイト・ホールB	既存	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
サッカー	オリンピックスタジアム	計画	100%	不要	東京都	(独)日本スポーツ振興センター	組織委員会	2015/10	2019/3	1,230	2020/7	
	東京スタジアム	既存	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
	札幌ドーム	既存	100%	不要	札幌市	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
	宮城スタジアム	既存	100%	不要	宮城県	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
	埼玉スタジアム2002	既存	100%	不要	さいたま市	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
	横浜国際総合競技場	既存	100%	不要	横浜市	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	

表 8.12 会場整備に係る責任とスケジュール

競技/種別	会場名	会場建設状況	オリンピックプロジェクトのために既に確保した土地の%	土地の集約(必要に応じて)	建設を認可する責任主体	恒久工事を発注する責任主体	オーバーレイ工事を発注する責任主体	建設スケジュール			OCOGへの会場引渡し日	
								恒久工事				
								開始日	完了日	継続期間		
体操	有明体操競技場	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
ゴルフ	霞ヶ関カントリー倶楽部	既存	100%	不要	川崎市	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
ハンドボール	国立代々木競技場	既存	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
ホッケー	大井ホッケー競技場	新設	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2017/12	2019/5	510	2020/7	
柔道	日本武道館	既存(改修工事あり)	100%	不要	東京都	(財)日本武道館	組織委員会	2017/12	2019/5	510	2020/7	
近代五種	フェンシング	武蔵の森総合スポーツ施設	計画	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2013/11	2016/10	1,050	2020/7
	水泳、馬術、ランニング、射撃	東京スタジアム	既存	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
ボート	海の森水上競技場	新設	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2016/6	2019/5	1,050	2020/7	
ラグビー	オリンピックスタジアム	計画	100%	不要	東京都	(独)日本スポーツ振興センター	組織委員会	2015/10	2019/3	1,230	2020/7	
セーリング	若洲オリンピックマリーナ	新設	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2015/12	2018/5	870	2020/7	
射撃	陸上自衛隊朝霞訓練場	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
卓球	東京体育館	既存	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
テコンドー	東京ビッグサイト・ホールB	既存	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
テニス	有明テニスの森	既存(改修工事あり)	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2017/12	2019/5	510	2020/7	
トライアスロン	お台場海浜公園	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
バレーボール	インドア	有明アリーナ	新設	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2016/12	2019/5	870	2020/7
	ビーチバレーボール	潮風公園	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
ウエイトリフティング	東京国際フォーラム	既存	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
レスリング	東京ビッグサイト・ホールA	既存	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
	選手村	新設	100%	不要	東京都	民間事業者	組織委員会	2016/6	2019/6	1,080	2020/5	
	IBC	既存(改修工事あり)	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	-	-	-	2019/7	
	MPC	既存(改修工事あり)	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2018/1	2019/12	690	2020/1	

## 8.13 土地買収

オリンピックプロジェクトのためにすでに確保した土地のパーセンテージを会場ごとに表8.12に記入してください。  
オリンピックプロジェクトのため、さらに土地の買収が必要な場合、土地買収のプロセスとスケジュール及び関連する法的要件があればそれも合わせて説明してください。

## オリンピックプロジェクトのための土地は全て確保しており、買収は不要。

## 8.14 設計プロセス及び建設規定

各会場施設の建設プロセスを管理する組織(例: OCOG、政府機関など)ごとに、設計の主要段階、期限、抗議/要請手続き、環境影響評価などの設計プロセス、及び外国企業の入札参加の可能性に関する詳細などの入札プロセスについて、説明してください。

## 大会のための設計プロセスと入札プロセス

表8.12に概説したように仮設会場及びオーバーレイ工事を除いた会場施設の計画、設計、入札、工事の管理は、表8.12の恒久工事を発注する責任主体がそれぞれ実施する。計画、設計にあたっては、これまでの開催都市の経験を踏まえ、オリンピックの専門家を係らせながら進めていく。東京都では、既定の契約事務規則及びWTO政府調達協定等に則り、適切な入札を実施する。

大会組織委員会の会場整備部は、東京都等の恒久工事を発注する責任主体と緊密に連携して2020年大会のための会場の条件整備、入札方針の検討、設計コンセプトの検討、進捗状況の把握、IOCへの報告を行う。また、仮設会場及びオーバーレイ工事の計画、設計、入札、工事の管理を行い、2020年大会後に仮設を撤去する。

会場の用地は既に確保されており、東京が開催地として選ばれた場合は、直ちに準備し、着工する。建設プロジェクトは以下の所定の入札

手順を経て開始される。非常に合理的なプロセス及び体制に則って進められるため、すべての会場はテストイベントまでに完成する。また、恒久施設については2020年大会後、必要に応じ、レガシーとしての利用を見据えた改修を行う。

## 詳細な日程表による厳密な管理

会場ごとに詳細な日程表を作成し、進行管理を徹底する。日本の建設プロジェクトは、質の高さと期日の厳守で知られており、競技会場がスケジュールどおりに完成されることは確実である。

## 原則的な入札手順

恒久工事を発注する責任主体及び大会組織委員会は、次の原則のもとに入札を実施する。

- ・透明性の確保
- ・公正な競争の促進
- ・適正な施工の確保
- ・不正行為の排除の徹底

入札手続きの3つの主要な段階は以下のとおりである。

## ・公表

件名その他の入札条件をインターネット等により公表し、入札参加者を公募する。このことにより、入札者に均等な入札機会が与えられ、公正な競争状態が確保される。

## ・応募受付

入札参加を希望する事業者から応募を受け付ける。審査の後、承認された入札者名簿を公開する。

## ・入札・選定

入札参加者が入札した後、開札し、技術、環境、財政的観点から評価した上で、最も評価の高い入札者を選定する。

## オープンな抗議・要請手続き

入札手順は、公正性、透明性が高いため、訴訟が提起される例はほとんどない。

入札者等の利害関係者は、入札の過程等に不服があるときは、契約担当者に説明を求め、その説明に納得しがたいときは、第三者機関に苦情の申立てができる。あるいは、利害関係者は直接、裁判所に訴訟を提起することも可能である。

## 環境影響評価

東京都内で、一定規模の建設その他の事業に関する計画策定や事業を行う者は、東京都環境影響評価条例に基づき環境影響評価を実施しなければならない。

## 外国企業からの入札参加を歓迎

国の内外を問わず、どの企業でも建設業法に基づく許可を受ければ、入札に参加することができる。外国企業が入札に参加することに対して障壁はなく、特に特定の競技及び会場に関する専門知識をもつ企業の参加が奨励される。

## 日本の法規に準拠した契約

日本におけるすべての契約は民法等の定めに基づいて行われる。関係方には、透明性の確保、公正な競争の促進、適正な施工の確保、不正行為の排除の徹底が基本である旨が明確に規定されている。

## 8.15 建設に関する報告、監視、全体のコーディネーション

会場及びインフラの物理的完成の進行度をどのようにIOCに一括報告し、誰が担当しますか(関与する複数の設計・建築コンサルタント団体を調整にあたる担当者)。

## 月例報告と監視

大会組織委員会は、恒久工事を発注する責任主体によって管理される会場を含め、全体の進捗状況に関する最新情報を確実に把握するとともに、必要な調整を行う。大会組織委員会は、IOCに対して月例報告を行い、ウェブサイト上で適時に情報及び画像を更新する。

## 8.16 会場使用日程

会場ごとに、当該会場で行われる競技の日程に基づいた使用日及び使用時間を、表8.16に記入してください。  
複数の競技に使用される会場については、競技名を記入するとともに競技ごとに使用日を記入し、どのようにして複数の競技に会場を使用するかについても示してください。  
表は、エクセル形式で必ずCD-ROMにて提出してください。

CD-ROM 表8.16を参照



有明テニスの森



電力

8.17 負荷及び信頼性の観点から見て、既存の配電システムで、想定されるオリンピック競技大会の需要を満たすことは可能ですか。

- ・可能でない場合、大会開催期間中を含め、大会開催までに、発電・送電・配電設備が必要とされる改善／さらなる開発について説明してください。
- ・各プロジェクトの完成日を示し、資金調達の方法や、必要となる国や地方の機関の助成金について説明してください。

既存の電力供給能力

東京では、既存の配電システムで、2020年東京大会で発生する追加需要に対し、対応することができる。

東京都内の電力は、主に、世界最大規模の民間電気事業者の一つである、東京電力株式会社により供給されている。東京電力株式会社の電力供給力は、東京都を含めた東京電力管内において、2011年3月のピーク時で、東日本大震災直前には5,200万kWであったが、震災直後には原子力発電所と火力発電所が停止したことにより3,100万kWに減少した。しかし、2012年7月には、火力発電所の復旧や新たな電源設備の設置などにより5,786万kWまで回復している。

その結果、2012年7月～8月の最大電力需要が5,078万kWであったため、708万kWの予備力があり、2020年東京大会で発生する追加需要に対して、既に十分に対応可能な状況にある。

既存の発電設備

東京都内において、東京電力株式会社が所有している発電設備は、現在、次の15箇所である。

- ・石油火力発電所 : 1箇所
- ・都市ガス火力発電所 : 1箇所
- ・内燃力発電所 : 10箇所
- ・地熱発電所 : 1箇所
- ・水力発電所 : 1箇所
- ・風力発電所 : 1箇所

東京都内において、東京電力株式会社が所有している原子力発電所は存在しない。

また、東京電力管内では、さらなる安定的な電力供給を図るために下記の対策が講じられ、電力供給能力が2020年東京大会までに増強される。

- ・2012年7月25日に、東京電力株式会社が提出した「資源生産性革新計画」が国に認定された。この計画を基に試算すると、2015年までに、既存の火力発電所の増強や、火力発電所の新設により、約304万kWの電力供給（うち、210万kWは、既に概ね整備完了で、2013年に稼働予定）が増加することになっている。これらの火力発電所の増強・新設は、国の支援を受けて実施される。また、東京都も、「2020年の東京」により、新たな東京産電力として大規模出力の発電所の建設を検討している。
- ・東京電力管内では、東京電力の他にも、近年の電力事業の自由化などの法改正等により、東京ガスグループが、全部で198万kWの天然ガス発電所を建設・保有するなど、新たな電力供給も進んでいる。
- ・東京電力管内は、管内の発電所のみでなく、東京電力管内と中部電力管内を結ぶ電力の地域連系線について、国により、2020年を目標に、現状の104万kWを210万kWに増強するなど、地域間相互に融通できる電力も増加する。こうした措置により電力供給能力をより臨機応変に利用することが可能となる。
- ・日本国政府のもとに設置された「エネルギー・環境会議」が、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、2012年9月14日に国家の新しいエネルギー戦略である「革新的エネルギー・環境戦略」を決定したが、その中においても、「低廉で安定的な電力供給を実現する」ということが記載されている。

- ・日本国政府は、今後のエネルギー・環境政策については、「革新的エネルギー・環境戦略」を踏まえて、関係自治体や国際社会等と責任のある議論を行い、国民の理解を得つつ、柔軟性を持って不断の検証と見直しを行いながら遂行することを、平成24年9月19日に閣議決定した。

既存の送電設備

東京の電力は、首都圏の500キロボルトの送電システムから供給されている。特に都心の電力は、首都圏近郊に点在する500キロボルトの変電所で275キロボルトに変圧され、多方面から供給されている。

都心の電力システムは、275キロボルト地中送電線が相互に連系できるよう構成されている。仮に、都心で緊急事態が発生しても、この連系機能を活用し、他の500キロボルト変電所から受電できるように送電ネットワークが形成されている。

都心では、既に世界初の500キロボルト地下変電所が稼働しており、高い供給信頼性を確保している。また、500キロボルトの地中送電線が既に敷設されており、各会場の集中的な電力需要にも十分対応することができる。

東京の電力供給システムは、冗長化構成を採用しており、世界最高水準の供給信頼性を確保しているとともに、全ての主要な電力施設には、物理的なセキュリティ対策が施されている。

なお、東京電力株式会社の保有する送電線の長さは、約2万kmである。

既存の配電設備

送電線から供給される電力は、中間変電所や配電用変電所を経て、配電線や引込線により、各施設に供給される。

東京電力株式会社が保有する配電線の長さは、約37万kmである。

図 8.17.1 東京電力管内の電力の安定供給確保

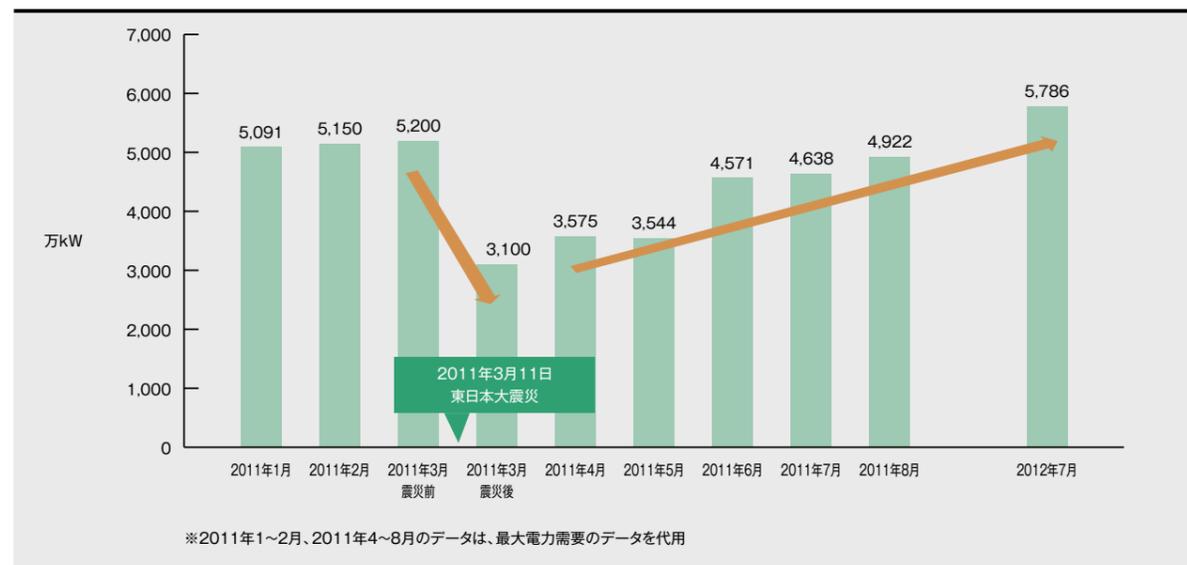
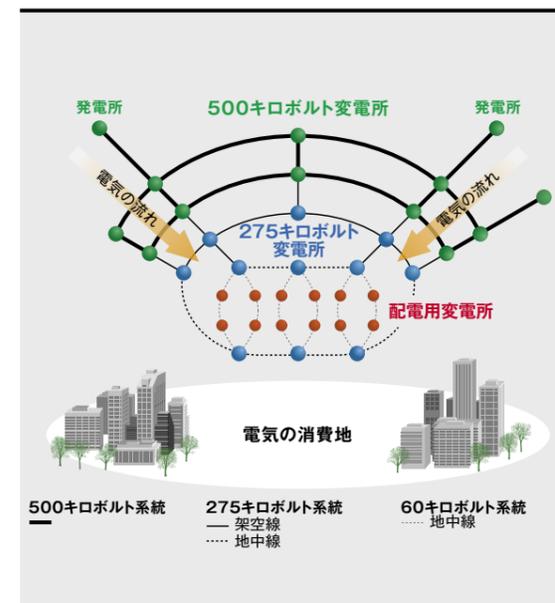


図 8.17.2 東京電力の電力系統



出典：東京電力株式会社資料

8.18 オリンピック会場の特別な電力需要を満たすと想定している、仮設の電力設備のレベルを示してください。

東京にある既存の電力網で2020年東京大会の電力需要にも十分に対応可能である。

さらに、IOCの要請に応えるため、2020年東京大会では、オリンピック放送サービス(OBS)、テクノロジー・システム、競技領域(FOP)照明や、タイム・スコア管理システム、オリンピック会場結果表示などイベントに欠かせない技術サービスに加え、セキュリティ・センター、アクセリテーション・センター、コミュニケーション・センターなど重要機能エリア向けに、全ての競技会場に仮設の自家発電設備を設置する。これらの仮設の自家発電設備は、ツイン・バック・テクノロジーを搭載したもので、そのほぼ半数がIBC/MPCに設置され、通常は予備電源として稼働する。

会場によって必要な場合(仮設施設や開会式など特定イベント)には、イベントまたは競技実施期間中、仮設の自家発電設備を主電源として稼働させ、通常の系統電力と同時に使用することができる。

2020年東京大会はIOCのパートナーとも密に連携し、オリンピック大会期間中のエネルギー供給態勢の一環として無停電電源装置(UPS)の稼働を行なう。無停電電源装置は、二重電力回線の切替え、系統電力のシステムダウンや、予備発電装置への切替え失敗などを原因とした短時間の停電が発生した場合にバックアップする。無停電電源装置は、主としてテクノロジー・システム、タイム・スコア管理システム、放送設備で使用される。

これらの電力供給施設には、信頼できる無停電電源装置を必ず設置する。

8.19 高品質でフィルタリングされた電力を、大会関連施設の特殊装置に供給できるようにするために、どのような計画がありますか。

特殊装置への確実な電力供給

日本の電気事業者から供給される電力の品質は、国が定める各種法令(電気事業法等)及びガイドラインで規定されている。これらの法令、ガイドライン等では、高品質な電力を供給する上で課題とされる、高調波、電圧変動等に関する技術的要件が定められており、それは国際的に最も高い水準にある。

電気事業者は、国の厳しい基準に基づく自社のガイドラインを作成して運用しており、大会の全ての会場に高品質かつ信頼性の高い電力を供給することが可能である。

放送機器やタイム・記録管理システムへは、専用の個別配電盤(専用電源)から電力が供給される。この配電盤は高周波ノイズを抑えるフィルタが組み込まれ、精密機器用のアース配線も独立したシステムとなっている。

IBCに設置される高性能電力と一般用電力の分配システムは、オリンピック放送機構(OBO)と協力して設計する。

8.20 電気事業者が、通常業務に与える影響を十分に考慮した上で、(恒久又は仮設設備により)質と柔軟性を備えた適切なレベルの電力を供給するとともに、オリンピック・パラリンピックを運営している全ての場所に対して運営支援を行い、一般の電力利用者に影響が生じないようにすることについて、関連する官公庁からの保証を提出してください。

保証については、保証ファイルを参照のこと。

通信

8.21 オリンピック・パラリンピック競技大会組織をサポートするために固定電話網と携帯電話網の追加インフラが必要な場合、そのインフラについて説明し、どの事業者が設置の準備をしているのかを列挙してください。上記の事業者は追加インフラの敷設費を大会組織委員会に請求しますか。あるいは、大会開催時に開催国で施行されている標準的な料金表に基づいて、使用料金のみが大会組織委員会に請求されるのですか。

大会開催に十分な能力をもつ通信インフラ

オリンピック・パラリンピック競技大会の開催時に必要となる通信能力は、既存及び計画済みの通信インフラによって十分に確保できる。

NTT東西は法律により電話サービスの日本全国における適切、公平かつ安定的な提供の確保の責務が課せられており、日本全国で信頼性が高い固定電話のインフラが整備されている。また、固定ブロードバンド網の整備率は、全国で約100%(2012年3月末)であり、さらに下り30Mbps以上の超高速ブロードバンドについても約97%(2012年3月末)となっている。固定電話から映像配信まで様々な種類の通信を提供できる高速大容量の通信ネットワークが日本中で利用可能であり、オリンピック関係施設にも提供される。

また、複数の携帯電話事業者(NTTドコモ、KDDI/沖縄セルラー電話、ソフトバンクモバイル、イー・アクセス)が関東で第3世代と第3.9世代(LTE: Long Term Evolution)用を併せて約110,000(2012年3月末)の基地局を設置しているなど、既に大会の開催に伴う膨大な利用者の増加にも十分に耐え得るだけの能力を有している。

大会のために追加インフラを構築する必要はない。しかし、既設や新設の競技会場及び非競技会場で恒久的な利用を考えている施設に

おいて、追加インフラが必要となった場合には、各通信事業者の負担で整備をさせ、使用料金のみを大会組織委員会が負担する。

仮設の施設に限っては、通信設備の拡張やアップグレードにおけるインフラの整備費用及び使用料金ともに大会組織委員会が負担する。

8.22 オリンピック・ファミリーが競技会場と非競技会場でワイヤレス技術を使用できるようにするための貴都市の取り組みを説明してください。

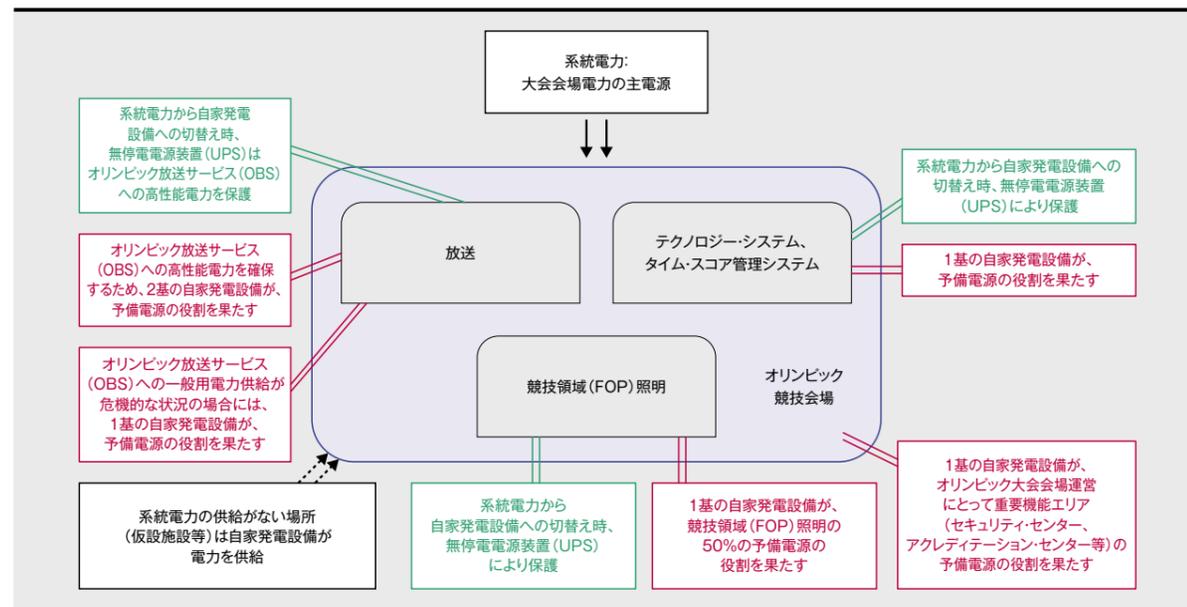
充実したワイヤレスサービスの提供

日本は情報通信技術(ICT)において非常に進んだ国であり、オリンピック・ファミリーは、すべての競技会場及び非競技会場で、無線LAN、LTE、WiMAXなど、高速・大容量のデータ通信ワイヤレスサービスを利用することができる。

大会組織委員会は、無線LAN設備を競技会場、IBC/MPC、選手村等に必要に応じて設置又は増設して、オリンピック・ファミリーに無償で開放する。また、公衆無線LANは、オリンピック・ファミリー用ホテル、空港等で使用できる。

LTE及びWiMAXは、既に全国の主要都市をカバーしており、オリンピック・ファミリーは、東京大会に関係する会場及びその周辺地域でこれらの高速無線サービスを使用できる。

図 8.18 2020年東京大会の電力ダイヤグラム





# 09

## パラリンピック競技大会

- 一つに統合された祭典の中で行われるコンパクトな大会
- ・オリンピックとパラリンピックを60日間の一つの祭典として開催
- ・都市のアクセシブル・デザインの最良事例を示すプラットフォーム
- ・95%の競技会場を選手村から半径8km圏内に配置
- ・日本における障害者スポーツ発展の契機
- ・オリンピックと統合された一つの組織委員会

9.1 パラリンピック競技大会を開催するに際しての全体的な考え方及びコンセプトを説明してください。

パラリンピック競技大会が、貴国・地域にどのようなレガシーをもたらすか、スポーツや社会の発展にどのように寄与するかについて説明してください。

全体的な考え方、コンセプトとレガシー

考え方&コンセプト

東京2020が提案するコンセプトの全体像は、全てのひとを差別なく社会に取り込み、障害者のニーズと興味に思いをはせることで、より良い世界を築き、社会全体により明るい未来をもたらすことができる、というメッセージをパラリンピック競技大会を通じて示すことである。これは、「Discover Tomorrow」というビジョンの欠かすことのできない一部となり、パラリンピック競技大会の重要なレガシーとなるであろう。

2020年東京パラリンピック競技大会は、真にかつ明確に参加する選手が最高の競技力を発揮できる環境を提供することを念頭において計画され、オリンピック・パラリンピック両競技大会は選手の達成感と才能の開花をもたらすスポーツの祭典となる。

パラリンピック競技大会を、オリンピック競技大会から連続した60日間のひとつの祭典として実施することが基本的なコンセプトとなるが、当然のことながら両大会はそれぞれ独自の個性や雰囲気有する。

パラリンピックの競技会場、練習会場、選手村、大会サービスやスタッフは、オリンピックのものと同様ではあるが、パラリンピック特有の要件についても十分に配慮し、選手に素晴らしい環境を提供するとともに、全てのパラリンピック大会関係者への貴重な経験を約束する。

選手村を中心とする半径8km圏内に、IBC/MPC、IPCホテル、そして射撃を除くすべての競技会場を配置する。これにより、選手が最高のパフォーマンスを発揮する機会を提供することができる。また、選手が最大限に力を発揮できるよう、選手村には世界最高水準のバリアフリー施設や設備を備える。

レガシー

東京は、公共の交通機関及び施設に関しては世界有数のアクセシビリティの高さを誇る。オリンピック・パラリンピック競技大会の開催は、地域社会全体にわたりより良いアクセスを確保するため最新技術と革新的建築をどのように活用するかを世界に示す絶好の機会となる。これによりアクセシビリティがさらに拡大・改善され、共生社会にさらに貢献することとなる。

テーマ1の1.4、1.5、1.7で述べたように、オリンピック競技大会とパラリンピック競技大会の開催は、東京、日本、そしてオリンピックムーブメントに幅広いレガシーをもたらす。そして、その多くは障害者の「機会」を拡大する。

例えば、東京都は長期都市戦略である「10年後の東京」(2006年-2016年)において、ユニバーサルデザインや障害者に対する施策について重要な約束をしているが、2020年に向けた新たな戦略である「2020年の東京」においても継続してその施策を推進していく。

パラリンピック競技大会を開催することで、そうした取組がさらに促進されるだけでなく、2020年東京大会が障害のある人々が新たにスポーツに取り組むきっかけとなるといった、さらに幅広いレガシーをも

たらすことができる。こうしたことにより、以下の取組が促進される。

- ・障害者を含む、すべての人々が身近でスポーツを楽しめる環境整備を行う。
- ・健常者と障害者のスポーツ団体が連携し、選手の強化や指導者の育成を促進する。

パラリンピック競技大会は、アクセシビリティに配慮した会場やインフラの整備を促進する。その結果、オリンピック・パラリンピック関係の施設や公共交通だけでなく、東京のまち全体が、障害者や高齢者をはじめとするすべての人々にとって、安全で快適に移動できるようになり、ユニバーサルデザイン都市・東京の実現が促進される。

また、パラリンピック競技大会はコミュニケーション上のバリアフリー化及びアクセシビリティを実現し推進するために、実証された最新技術を活用する。大会は、共生社会を実現し、障害者の自立を支援する。また、以下の取組を促進する。

- ・障害の有無に関わらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう共生社会を実現する。
- ・障害を持つ人々が日々直面している問題や、パラリンピックの価値や理念等について知り、身近な問題として考える機会を増やし、人々の理解を深める。
- ・継続的に学校や企業への教育プログラムを実施する。
- ・「2020年の東京」においても推進することとしている、障害者の勤労条件の向上や、障害者が働き続けられる環境づくり、障害者の社会参加や地域との交流の活性化などの取組を加速する。

9.2 以下の日付を示してください。

- ・パラリンピック選手村の開村
- ・パラリンピック開会式
- ・パラリンピック閉会式
- ・パラリンピック選手村の開村

主要期日

パラリンピック選手村の開村：2020年8月18日(火)  
 パラリンピック開会式：2020年8月25日(火)  
 パラリンピック閉会式：2020年9月6日(日)  
 パラリンピック選手村の開村：2020年9月9日(水)

2020年東京パラリンピック競技大会は、オリンピック競技大会の16日後に開催され、オリンピックで生まれた興奮と感動をパラリンピック競技大会へと伝える。

この期間は穏やかな気候の日が多く、選手の最高のパフォーマンスが期待できるだけでなく、多くの観客を魅きつけることができる。また、都内の小・中・高等学校の学期期間と重なっており、教育活動の一環として多くの子供たちに観戦の機会を提供することも可能である。一方、東京に立地する大学の多くは夏期休暇中であり、大学生がボランティア又は観客として参加しやすい時期でもある。

9.3 貴国/地域/都市で過去10年以内に開催したことのある障害者を対象とした主な競技大会の例を挙げてください。

障害者スポーツ競技大会の経験

わが国は、東京のみならず他の地域においても、多くの障害者スポーツ競技大会を開催した経験を有する。

東京は、2009年のアジアユースパラ競技大会の開催により、貴重

な障害者スポーツ特有の経験を得た。さらに、アジアの若者に高レベルな競技機会を提供し競技力の向上を図った。彼らは2020年に再び東京で競技したいという意欲を持つであろう。それ以降、アジアにおいて障害者スポーツの普及が継続的に促進されている。アジアユースパラ競技大会は、パラリンピック競技に対する人々の認識と興味を呼び起こす大きな契機ともなった。

9.4 組織

9.4.1 貴国における国内パラリンピック委員会の位置づけと組織について説明してください。また、関係するその他の障害者団体・組織の名前も挙げてください。政府当局や他のスポーツ団体との関係について詳しく述べてください。

日本では、1964年に開催されたパラリンピック東京大会を契機に、わが国の身体障害者スポーツの普及・発展・振興を図る統括組織として、1965年に財団法人日本身体障害者スポーツ協会(JSAD)が設立された。

現在は公益財団法人である日本障害者スポーツ協会は、政府当局からの援助、支援を受け、都道府県及び指定都市に設置されている障害者スポーツ協会・スポーツ指導協議会等との緊密な連携により、全国障害者スポーツ大会やジャパンパラ競技大会をはじめとする全国規模の障害者スポーツ大会を開催している。また、2011年に制定された「スポーツ基本法」においては、国際競技大会の招致・開催等による国際的な規模の障害者スポーツの振興もその役割の一つとされている。

日本パラリンピック委員会(JPC)は、1998年のパラリンピック長野大会を契機に、身体・知的・精神の三障害すべてのスポーツ振興を統括する組織として、また国際舞台で活躍できる選手の育成・強化を担う統括組織として、日本障害者スポーツ協会内部に設置された組織であり、委員長、運営委員会、競技団体会議、加盟競技団体(61団体)、事務局で組織されている。

9.4.2 パラリンピック競技大会開催のために組織委員会内部でどのような組織統合を行っているか、特に理事会、上級管理職、パラリンピック部門と他の部門間の関係について言及してください。

1つの組織で2つの競技大会を開催

東京は、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会を1つの大会組織委員会によって準備・開催する。

オリンピックとパラリンピックの期間を通じ、世界的なスポーツの祭典として継続性を持った一体的な運営を行うこととし、そのことを大会組織委員会のあらゆるレベルの職員に徹底する。

また、大会組織委員会の理事会には、日本パラリンピック委員会(JPC)の会長等のパラリンピックムーブメントを代表する者が構成員として加わる。大会組織委員会には、パラリンピックスポーツに関する経験や知識を有するスタッフからなる、パラリンピック競技大会専任の部門を設置する。他の部門と緊密に連携を図ることで、効率性を最大化すると共に運営上の変更を最小化する。

表 9.3 障害者スポーツ競技大会の開催実績

年月	競技名	大会名	開催場所	
毎年	総合競技	全国障害者スポーツ大会	-	
	総合競技	ジャパンパラ競技大会	-	
	陸上競技	大分国際車いすマラソン大会	大分県	
	陸上競技	国際盲人マラソンかすみがうら大会	茨城県	
	陸上競技	国際視覚障害者マラソン大会(青島)	宮城県	
	車椅子バスケットボール	国際親善車椅子バスケットボール大阪大会	大阪府	
	車椅子バスケットボール	北九州チャンピオンズカップ国際車椅子バスケットボール大会	福岡県	
2012	車いすテニス	ジャパンオープン(飯塚国際車いすテニス大会)	福岡県	
	ゴルフ	第9回世界デフゴルフ選手権	三重県	
2012	10	ITU世界トライアスロン横浜大会	神奈川県	
2012	4	卓球	2012世界ろう者卓球選手権大会	東京都
2012	1	アイススレッジホッケー	2012ジャパンアイススレッジホッケー選手権大会	長野県
2011	12	視覚障害者5人制サッカー	第4回IBSA B1フットサルアジア選手権大会	宮城県
2011	9	トライアスロン	ITU世界選手権大会横浜大会	神奈川県
2009	12	視覚障害者5人制サッカー	第3回IBSA視覚障がい者サッカーアジア選手権大会	東京都
2009	9	総合競技	第2回アジアユースパラ競技大会	東京都
2008	5	パワーリフティング	日韓交流戦	東京都
2008	2	アルペンスキー	IPC障害者アルペンスキーワールドカップ2008ファイナル白馬大会	長野県
2007	10	脳性麻痺者7人制サッカー	日韓社行試合	千葉県
2007	10	電動車椅子サッカー	第1回FIPFAワールドカップ2007	東京都
2007	10	知的障害者卓球	第5回INAS-FID世界知的障害者卓球選手権大会	千葉県
2006	9	車椅子バスケットボール	INAS-FID 世界車椅子バスケットボール世界選手権大会	神奈川県
2005	9	馬術	第1回アジアパシフィック地区パラエクストリアンピデオ競技会	愛知県
2005	8	ボート	世界ボート選手権	岐阜県
2005	2	総合競技	スペシャルオリンピックス冬季世界大会	長野県
2004	11	車いすダンス	2004IPC車いすダンススポーツ世界選手権大会	東京都
2003	12	ボウリング	第1回 IBSA アジア視覚障害者ボウリング大会	東京都
2003	9	ウィルチェアラグビー	第2回 オセアニアゾーン選手権	千葉県
2003	7	シッティングバレーボール	アジアチャンピオンシップ 女子	千葉県

9.5 会場

9.5.1 以下を表9.5.1に記入してください。

- ・競技会場及びその他会場の総数
- ・会場名(オリンピック競技大会に使用される会場については同じ名称を用いること)
- ・各会場の予定されている用途
- ・パラリンピック競技大会のニーズを満たすために必要な改修/建設、費用見積額(予定される車いす座席を含む)
- ・オリンピック競技大会に使用されない会場について、会場所有者とのパラリンピック競技大会に関する交渉状況(保証書取得/予定日)
- ・パラリンピック競技大会競技会場の(既設の車いす座席を含めた)座席総数

表 9.5.1 パラリンピック会場

会場	用途	総座席数	既存車いす座席	必要な改修/建設	予定車いす座席	改修見積額(百万円)	会場所有者との交渉状況
<b>競技会場</b>							
ヘリテッジゾーン							
オリンピックスタジアム	陸上競技	80,000	960	小規模な改修	960	34	保証書取得済
東京体育館	卓球	8,000	120	小規模な改修	120	177	保証書取得済
国立代々木競技場	ウィルチェアーラグビー	12,000	216	小規模な改修	216	5	保証書取得済
日本武道館	柔道	11,000	110	小規模な改修	110	3	保証書取得済
東京ベイゾーン							
有明アリーナ	シッティングバレーボール	15,000	195	小規模な改修	195	5	保証書取得済
有明ペドドーム	自転車競技(トラックレース)	5,000	50	小規模な改修	50	2	保証書取得済
有明体操競技場	ゴールボール	5,000	120	小規模な改修	120	4	保証書取得済
有明テニスの森	車いすテニス	10,000	150	小規模な改修	150	6	保証書取得済
		3,000	45	小規模な改修	45		
		2,500	40	小規模な改修	40		
お台場海浜公園	自転車競技(ロードレース)	10,000	100	小規模な改修	100	3	保証書取得済
	トライアスロン						保証書取得済
東京ビッグサイト・ホールA	パワーリフティング	5,000	100	小規模な改修	75	47	保証書取得済
東京ビッグサイト・ホールB	ボッチャ	5,000	75	小規模な改修	75	46	保証書取得済
大井ホッケー競技場	視覚障害者5人制サッカー	4,000	50	小規模な改修	50	36	保証書取得済
	脳性麻痺者7人制サッカー	10,000	100	小規模な改修	100	3	保証書取得済
海の森水上競技場	カヌー	14,000	210	小規模な改修	210	4	保証書取得済
	ボート						保証書取得済
		14,000(+10,000)	210	小規模な改修	210	5	保証書取得済
若洲オリンピックマリーナ	セーリング	2,000(+3,000)	20	小規模な改修	20	1	保証書取得済
夢の島ユース・プラザ・アリーナA	車椅子バスケットボール	7,000	105	小規模な改修	105	9	保証書取得済
	車いすフェンシング						保証書取得済
夢の島ユース・プラザ・アリーナB	車椅子バスケットボール(決勝)	18,000	234	小規模な改修	234	9	保証書取得済
夢の島公園	アーチェリー	7,000	105	小規模な改修	105	4	保証書取得済
夢の島競技場	馬術	14,000	168	小規模な改修	168	4	保証書取得済
オリンピックアクアティクスセンター	水泳	20,000	300	小規模な改修	300	9	保証書取得済
<b>その他の競技会場</b>							
陸上自衛隊朝霞訓練場	射撃	4,600	69	小規模な改修	69	2	保証書取得済
競技会場数: 20							
<b>非競技会場</b>							
成田国際空港	-	-	-	-	-	0	-
羽田空港	-	-	-	-	-	0	-
IPCホテル	-	-	-	-	-	0	保証書取得済
選手村	-	-	-	-	-	0	保証書取得済
主要メディアホテル	-	-	-	-	-	0	保証書取得済
IBC/MPC	-	-	-	-	-	0	保証書取得済
非競技会場数: 6							

9.5.2 競技開催時の移動距離(km)及びバスを利用した場合の平均所要時間(分)を表9.5.2に記入してください。

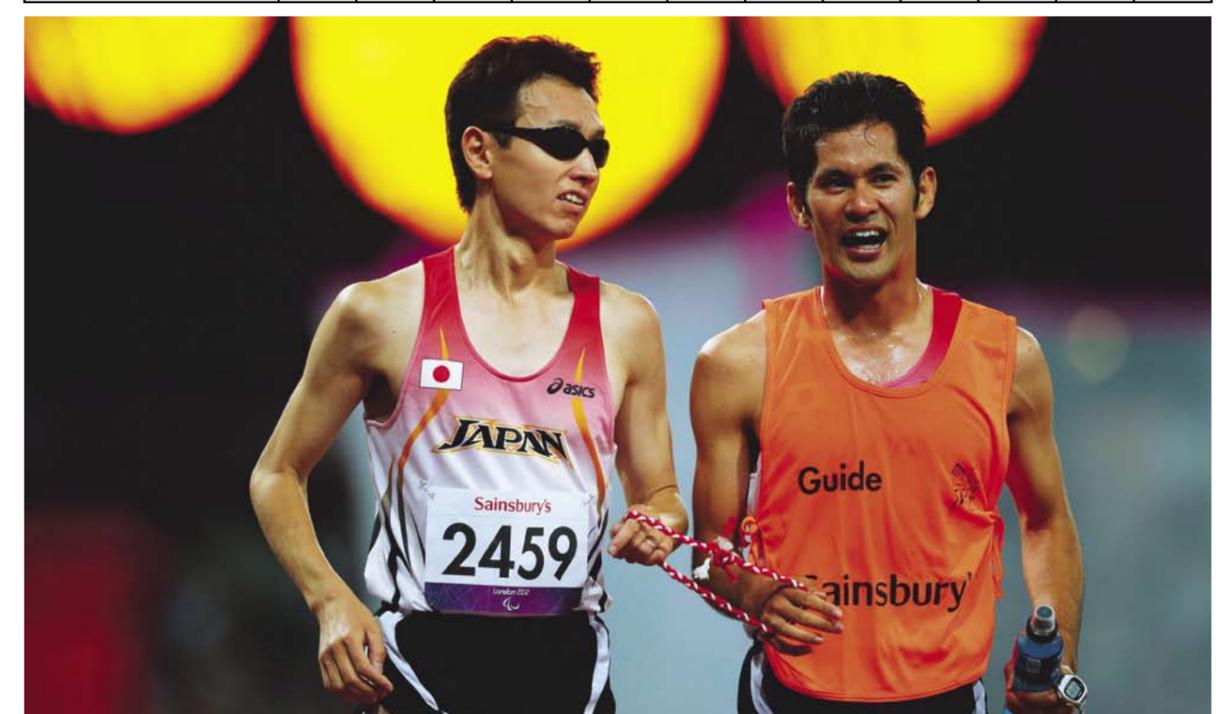
9.5.3 選手村を含むすべての競技会場及び非競技会場の立地を示す地図を提出してください。距離はすべてkmで示してください。

(地図131-132ページを参照。)

移動距離と時間

表 9.5.2 距離及び平均所要時間(2020年)

競技・施設名	成田国際空港		東京国際空港(羽田空港)		主要ホテル地区		選手村		メディア宿泊施設(有明)		IBC/MPC	
	km	平均時間	km	平均時間	km	平均時間	km	平均時間	km	平均時間	km	平均時間
成田国際空港	-	-	77	55	72	55	68	50	68	50	67	50
東京国際空港(羽田空港)	77	55	-	-	18	20	14	15	13	10	13	10
主要ホテル地区	72	55	18	20	-	-	4	5	9	10	9	10
選手村	68	50	14	15	4	5	-	-	5	5	5	5
メディア宿泊施設(有明)	68	50	13	10	9	10	5	5	-	-	<1	<5
IBC/MPC	67	50	13	10	9	10	5	5	<1	<5	-	-
アーチェリー	64	45	15	15	10	10	6	10	6	10	5	5
陸上競技	80	65	22	25	5	5	7	10	13	15	13	15
ボッチャ	69	50	12	10	9	10	6	5	<1	<5	<1	<5
カヌー	72	55	23	25	18	20	14	15	14	15	14	15
自転車競技(ロードレース)	70	55	10	10	11	15	7	10	5	10	6	10
自転車競技(トラックレース)	69	50	12	10	9	10	6	5	1	<5	2	<5
馬術	64	45	15	15	10	10	6	10	6	10	5	5
視覚障害者5人制サッカー	75	55	8	10	16	15	12	10	10	10	10	10
脳性麻痺者7人制サッカー	75	55	8	10	16	15	12	10	10	10	10	10
ゴールボール	69	50	12	10	10	10	6	10	2	<5	2	<5
柔道	79	65	22	20	4	5	16	20	14	15	14	15
パワーリフティング	69	50	12	10	9	10	6	5	<1	<5	<1	<5
ボート	72	55	23	25	18	20	14	15	14	15	14	15
セーリング	67	50	18	15	13	15	10	10	9	10	9	10
射撃	103	90	46	50	28	35	31	40	38	45	38	45
水泳	71	55	15	15	12	15	8	10	4	5	4	5
卓球	80	65	22	25	5	5	7	10	13	15	13	15
トライアスロン	70	55	10	10	11	15	7	10	5	10	6	10
シッティングバレーボール	69	50	12	10	9	10	6	5	1	<5	2	<5
車椅子バスケットボール(決勝)	64	45	15	15	10	10	6	10	6	10	5	5
車椅子バスケットボール(予選)	64	45	15	15	10	10	6	10	6	10	5	5
車いすフェンシング	64	45	15	15	10	10	6	10	6	10	5	5
ウィルチェアーラグビー	84	70	27	30	9	10	11	15	19	20	19	20
車いすテニス	69	50	13	10	10	10	6	10	2	<5	2	<5



9.5.3 - パラリンピック会場配置

ヘリテッジゾーン

- ① 開・閉会式
- 陸上競技
- ② 卓球
- ③ ウィルチェアラグビー
- ④ 柔道

東京ベイゾーン

- ⑧ シットティングバレーボール
- ⑩ 自転車競技(トラック・レース)
- ⑪ ゴールボール
- ⑫ 車いすテニス
- ⑬ 自転車競技(ロード・レース)
- ⑭ トライアスロン
- ⑮ パワーリフティング
- ⑯ ボッチャ
- ⑰ 視覚障害者5人制サッカー
- ⑱ 脳性麻痺者7人制サッカー
- ⑲ ボート
- カヌー
- ⑳ セーリング
- ⑳ 車椅子バスケットボール
- 車いすフェンシング
- ㉔ 車椅子バスケットボール(決勝)
- ㉕ アーチェリー
- ㉖ 馬術
- ㉗ 水泳

その他

- ㉚ 射撃

- PV 選手村
- IPCホテル
- MMH 主要メディアホテル
- IBC/MPC 国際放送センター/メインプレスセンター

- ★ パラリンピック・ホスピタリティ・サイト
- ★ ライブサイト
- 00 パラリンピック競技会場
- 00 オリンピックのみで使用する競技会場

- 道路
- 鉄道
- 高速道路
- 郊外鉄道
- 主要幹線道路
- 地下鉄
- 中量軌道システム



成田国際空港 41km

東京国際空港 (羽田空港)



0 1 2 3 4 5km

9.5.4 オリンピック競技大会開催中に使用されない競技会場、又はパラリンピック競技大会の開催期間がテーマ8に記した保証の対象になっていない競技会場のすべてについて、その会場の使用とコマーシャル・ライツ(商業的権利)の管理に関する保証書を提出してください。  
各会場施設が国際パラリンピック競技連盟(IPSF)の技術仕様を現時点で満たしている、又は将来満たすことを示すIPSFの署名を付した同意書を提出してください。

保証については、保証ファイルを参照のこと。

9.6 競技日程

以下を表9.6に記入してください。

- ・開会式及び閉会式
- ・1日あたりに授与される金メダル総数
- ・(競技別/種別ごとの)競技日程
- ・(競技別/種別ごとの)練習日
- ・(競技別/種別ごとの)決勝戦

競技日程

競技日程は、2012年ロンドンパラリンピック競技大会の評価を踏まえて作成している。

すべての練習会場は、パラリンピック選手村開村日である8月18日(火)から競技終了日まで利用可能である。

9.7 輸送

「各国パラリンピック委員会(NPC)選手団(選手及び選手団役員)」「競技大会役員(国内/国際技術役員)」「パラリンピックファミリー(IPC、国際パラリンピック競技連盟(IPSF)、来賓及びスポンサー)」「メディア」「観客」「大会スタッフ」を対象とした、パラリンピック競技大会開催期間中の輸送運営のコンセプトについて説明してください。

オリンピックと全く同等な水準の輸送サービスの提供

2020年東京パラリンピック競技大会においては、オリンピックと全く同等な輸送サービス及び運営を、パラリンピック選手特有のニーズに対する特別な配慮を持って行う。

具体的には、選手村から半径8kmという非常にコンパクトな圏内に射撃会場を除く全競技会場と主要施設を配置することにより、利用者の大多数が15分以内で移動可能な環境を提供する。また、クライアント別に徹底したニーズ調査を行い、車いす使用が可能なバリアフリー対応車両を十分に用意し、障害のある選手が安全に快適に活用できるよう特別な配慮が加えられる。最後に、道路や駅などの交通基盤のユニバーサルデザイン化やバスのノンステップ化などを2020年までにほぼ完了する。

こうした大規模な改良は東京都民のための恒久的な対策として実施され、東京にとって重要なレガシーとなるものである。

- ・NPC選手団(選手及び選手団役員)  
最も重要性の高いグループである選手及び選手団役員が、競技において最高のパフォーマンスを発揮するため、オリンピックと同等な水準の輸送サービスを提供する。ただし、輸送車両や輸送スケジュールはパラリンピックならではの各競技の特性を踏まえて作成し、空港や選手村、競技会場などでは、手荷物の移動、用器具の荷積み、荷おろしを補助するために専用スタッフを配置する。
- ・競技大会役員(国内/国際技術役員)

選手村に滞在する競技大会役員及びクラス判定員には競技の特性やニーズに応じた専用の輸送サービスを提供する。また、選手村に専用の輸送案内デスクを設け、補助と輸送情報を円滑かつ迅速に提供する。

パラリンピック・ファミリー(IPC、IPSF、来賓及びスポンサー)  
IPC、IPSF、来賓及びスポンサーに対しては、その重要性に応じてT1、T2及びT3の輸送サービスを提供する。今後、需要増加が見込まれるマーケティング・パートナーについては、特に徹底したニーズ調査を行い、必要な車両等の運行を確保する。

メディア  
メディア関係者には、メディア専用輸送システムを提供する。このシステムはオリンピックと同様にハブ&スポーク方式により運行し、IBC/MPCとメディアホテル間についてはメディア向けシャトルバスを24時間運行する。バスにはメディア関係者の機材用のスペースも確保されている。従って、必要に応じて多くのバスにアクセスすることが可能となる。

観客及び大会スタッフ  
観客及び大会スタッフについては、他に比類ない東京の公共交通システムを利用してオリンピックと同等の輸送サービスを提供する。東京都全体のアクセス向上のためのユニバーサルデザイン化は既に実施されており、大会前までに改良をほぼ完了する。ただし、オリンピック・パラリンピック両競技大会においては観客数に占める障害者の割合が高くなることを踏まえ、十分な補助スタッフを配置し障害を持つ乗客の円滑な輸送の補助を実現する。なお、チケットを持った観客及び大会スタッフに対する公共交通機関の無料化などのサービスもオリンピックと同様に行う。

さらに、複数の移動手段の間の所要時間を最小にするといった、観客ルートにおける「接続性」のコンセプトが真にアクセシビリティの高い輸送の確保に重要であるため、これには特別な注意を払う。オリンピック・パラリンピック競技大会の観客全てが、公共交通機関から会場、会場から観客向け施設等、ある場所から別の場所への移動を滑らかに簡単に行える。

表 9.6 競技日程

競技/種目	競技日												決勝	金メダル数
	8.25 (火)	8.26 (水)	8.27 (木)	8.28 (金)	8.29 (土)	8.30 (日)	8.31 (月)	9.1 (火)	9.2 (水)	9.3 (木)	9.4 (金)	9.5 (土)		
開会式/閉会式	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	0
アーチェリー									4	3	2			9
陸上競技				9	18	21	17	17	24	20	17	23	4	170
ボッチャ				3				4						7
カヌー											6	6		12
自転車競技(ロード・レース)									18	4	6	4		32
自転車競技(トラック・レース)			5	5	5	3								18
馬術				2	3	2	4							11
脳性麻痺者7人制サッカー												1		1
視覚障害者5人制サッカー													1	1
ゴールボール										2				2
柔道				4	4	5								13
パワーリフティング				2	3	3	3	3	3	3				20
ボート					4									4
セーリング									3					3
射撃		2	2	2	1	1	1	1	2					12
水泳		15	15	15	14	14	15	15	15	15				148
卓球					11	10			4	4				29
トライアスロン					6	6								12
シッティングバレーボール										1	1			2
車椅子バスケットボール										1	1			2
車いすフェンシング									4	4	2	1	1	12
ウィルチェアーラグビー												1		1
車いすテニス									1		2	3		6
金メダル数計:	0	17	22	42	69	65	40	40	78	57	52	39	6	527



## 9.8 宿泊施設

以下の関係者グループを対象とした、選手村以外のパラリンピック競技大会宿泊計画について説明してください。

- ・競技大会役員(選手村内に個別のエリアが設定されていない場合)
- ・メディア
- ・パラリンピックファミリー
- ・観客

### 合理的な料金で、バリアフリーな宿泊施設を提供

#### 認証されたパラリンピック関係者に対する適切な客室提供

大会組織委員会は、パラリンピック競技大会関係者に対して、合理的な料金で、快適かつアクセシビリティが確保された、車いすで利用可能なホテルを提供する。東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会は、競技会場や選手村へ短時間で移動できる地域に約6,600室の客室を既に確保している。これらのホテルは、パラリンピック競技大会時だけでなく、大会前後期間の客室提供に関する保証書に署名している。

IPC会長、IPC委員、NPC会長や事務局長には、立地条件の良い2つのホテル(ホテルオークラ東京及びANAインターコンチネンタルホテル東京)が特別料金で確保されている。パラリンピック競技大会の技術役員には、競技場へのアクセスの良いホテルの他、選手村内の専用地域にある宿泊施設を用意しており、競技運営上のニーズに適した宿泊環境を提供する。

大会組織委員会は、認証されたメディア関係者に、多様な価格のホテルの客室を提供する。メディア向けホテルはIBC/MPCに近く、パラリンピック競技大会の各競技会場へ短時間で移動できる地域にあり、インターネット設備など必要な通信機能を完備した客室を提供する。

#### あらゆる予算に対応し、アクセシビリティが確保された観客向け宿泊施設

東京には、豪華な5つ星ホテルから手頃な価格で宿泊できる朝食付きホテルまで、アクセシビリティが確保された多様なホテルが数多くある。パラリンピック競技大会という祭典を体験するために東京を訪れるすべての人が、予算、ニーズや好みに合わせた最適な宿泊施設を見つけることができる。

## 9.9 アクセシビリティ

9.9.1 会場、宿泊施設、交通施設及び都市全般などの分野に関して、障害者に配慮したインフラ施設の水準について説明してください。

### 優れたアクセシビリティの実現

2020年東京大会では、会場、宿泊施設、交通施設等において障害者だけでなく、高齢者等も含めた全ての人へ優れたアクセシビリティを提供する。日本では、建築物や交通機関における障害者等のアクセシビリティはすでに非常に高い水準にある。そして、2006年には高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律が制定され、基準適合義務の範囲の拡大がなされた。加えて、東京都では各種条例やガイドラインを制定し、より高水準のアクセシビリティを実現する体制が整備されている。

#### 会場 ー完全なアクセシビリティの実現ー

東京都は、法令やガイドラインに基づいてオリンピック・パラリンピック競技会場を設計・建設することにより、優れたアクセシビリティを実現する。また、以下の5点に配慮した整備を行い、全ての会場をユニバーサルデザインに基づいた施設とする。

- ・誰もが同じように施設や設備を利用できる
- ・利用者の知識や能力、状況に関係なく、容易に施設や設備を利用できる
- ・特別な注意を払わなくても、危険なく施設や設備を利用できる
- ・使い勝手よく施設や設備を利用できる
- ・気持ちよく施設や設備を利用できる

また、この施設に十分な訓練を行ったスタッフを多数配置することで、きめ細やかな対応を行い、会場運営でも優れたアクセシビリティを実現する。

#### 宿泊 ー誰もが利用しやすい宿泊施設ー

2020年東京大会は、パラリンピック競技関係者に対して、ユニバーサルデザインによる施設整備が行われ、アクセシビリティが確保された宿泊施設を提供する。また、パラリンピック選手村は域内の全ての施設に対して、高水準のアクセシビリティが実現される。

#### 交通施設及び都市全般

##### ーユニバーサルデザインの積極的な導入ー

日本では、会場や宿泊施設のみならず、駅やバスターミナル(乗降施設)、都市公園などについてもアクセシビリティを確保すべきことが法令で定められており、交通施設を含む都市全般のアクセシビリティの向上を図る体制が構築されている(東京都における鉄道駅の段差解消 約9割、東京都におけるノンステップバスの導入率 約8割、(2012年現在))。

また、東京都では「2020年の東京」計画を策定し、ユニバーサルデザインの考えに基づき、「人」をまちづくりの中心に据え、「より安全に」「より安心して」「より快適に」暮らすことのできるような福祉のまちづくりを進めている。

この計画の実施により、2020年には、東京の全ての駅へのエレベーターやスロープ及び障害者用トイレの設置、全ての都営バスのノンステップ化などがほぼ完了し、現状でも高いレベルにある東京のアクセシビリティは一層向上する。

### すべての人に対する適切な標識、その他の誘導・援助

2020年東京大会では、すべての観客が会場への道順をすぐに把握でき、会場へのアクセシビリティが最大化されるよう適切な標識及びシステムを確保する。見やすくわかりやすいアイコンが使用され、標識は最低でも2か国語(英語と日本語)で表示される。サイズ、色、コントラスト、そして掲示位置が適切かどうか特別な注意を払う。重要なのは点字案内板や視覚障害者誘導用ブロック等の視覚障害者向けに特化したシステムが導入される点であり、これは今後の大会における新基準及び先例となるだろう。

#### 9.9.2 パラリンピック競技大会に関して、計画/建設段階からアクセシビリティ基準を適用する旨の保証書を、所管官庁から入手し、提出してください。

東京都からの保証書が添付されており、オリンピック及びパラリンピック競技大会のための全施設と周辺エリアが以下の法令を満たし、ユニバーサルデザインに基づくアクセシビリティを実現することを保証している。

#### 法令

- 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(2006年 国土交通省)
- 高齢者、障害者等が利用しやすい建築物の整備に関する条例(2006年 東京都)
- 東京都福祉のまちづくり条例(2009年 東京都)

また、日本国政府は、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく基準適合性審査や基準適合命令を行うことで、公共交通機関の旅客施設及び車両等について同法に基づくアクセシビリティ基準の遵守を確実にする。

## 9.10 障害への理解

適切で専門的かつ慎重を期した態度をもって障害者とのコミュニケーションを取り、ともに問題解決を図れるようにするため、有給スタッフ、請負業者、ボランティア、セキュリティ要員全員に対して、どのような障害理解/教育訓練プログラムを実施するのか説明してください。

### 障害者への理解

1970年、障害者の自立と社会参加支援等を推進し、障害者の福祉を増進することを目的に制定された「障害者基本法」は、わが国における障害者福祉施策の基本となる事項と、国、地方公共団体及び国民の責務・役割等が規定されている。2004年の改正により、障害を理由とする差別の禁止等が新たに定められた。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会におけるあらゆる取組は、この法律に服する。

### 知識豊富な指導者・人材

障害者分野について知識と経験を有する人物を、リーダーやスタッフ、ボランティアとして採用するため、特別な募集プログラムを実施する。オリンピックとパラリンピックでは同じスタッフ・ボランティアが従事し、両大会において同質で高いレベルのサービスを提供する。

わが国では、1964年の東京パラリンピック競技大会を契機として、1965年に財団法人日本身体障害者スポーツ協会が設立され、協会が養成・認定する障害者スポーツ指導者制度が発足した。現在、専門分野の講義・実技講習を受講した21,000人を超える経験豊富な指導者が全国で活動している。

また、東京都では2006年に地域での障害者スポーツ活動を支援するため、スポーツボランティア制度を発足させた。

このほか、大分国際車いすマラソン、東京マラソンなど障害者スポーツ大会を含む多くの国際大会に専門のスポーツボランティアが多数参加し、イベントを支えてきた。

### 教育プログラムの策定

大会組織委員会は、専門家や障害を持つ人と協議のうえ、スタッフやボランティア向けの教育訓練プログラムを策定する。その内容としては、次のものを含むものとする。

- ・障害に対する知識や理解、障害者の有する課題に関すること
- ・障害の種類や、その種類別に使用される器具や装備に関すること
- ・障害者の支援、介助に関すること
- ・コミュニケーションの手法、特別な配慮や思いやり等に関すること

また、大会組織委員会はこれらのプログラムを、スタッフやボランティアが従事する分野に合わせて作成するが、特に観客サービスやセキュリティの要員に対しては、専門家により特別の訓練を実施するほか、東京消防庁は、火災時等における初期消火・応急救護・避難誘導等の訓練を実施する。

9.11 コミュニケーションとメディア

9.11.1 コミュニケーション計画全体で、パラリンピック競技大会についてどのようなプロモーション活動を行いますか。とりわけ一般国民の間に障害者スポーツに関する知識や関心を高めるためのおもな方策例を示してください。パラリンピック振興のためにどのような予算を用意していますか。その予算額の詳細について、9.12.2のパラリンピック予算で述べてください。

コミュニケーション戦略

2020年東京オリンピック競技大会及びパラリンピック競技大会は、それぞれ異なる特徴と雰囲気有するが、“Discover Tomorrow”という東京2020のビジョン及び60日間の連続した一つのスポーツの祭典というコンセプトに基づき実施される。したがって、パラリンピック競技大会のコミュニケーション戦略はオリンピック競技大会の戦略と一体となったものとなるが、そこにはパラリンピックの独自の要素も含まれる。

その戦略には、あらゆるコミュニケーション手段 - PR、広告、国内外のメディア・リレーション、ソーシャル・メディアやイベントプロモーション - を活用し、そこに日本の優れたITも巻き込んだ、統合されたプロモーションプログラム及びメディア活動が含まれる。オンライン・コミュニケーションやデジタル・メディアも最大限活用する。また、IPCとの緊密な連携のもと、パラリンピック・ファミリーやトップスポンサー、ローカル・パートナーやメディア・ライツ・ホルダーなど他の関係者とも全面的に協力して進めていく。

そのプロモーション活動の主役はもちろんアスリートである。彼らはスポークスマン、教育者、感動を与えるヒーロー、模範となる。

障害者スポーツ振興の普及・促進

1964年の東京パラリンピックに引き続き開催された国内2部大会は、車いす使用者に加え他の障害を持つ選手が参加した世界初の歴史的大会としての意義を有している。

翌年の1965年から身体障害のある人々を対象とする「全国身体障害者スポーツ大会」、1992年からは知的障害のある人々を対象とする「全国知的障害者スポーツ大会」を開催し、2001年からはこれらを統合し、「全国障害者スポーツ大会」を国民体育大会終了後に毎年開催し、障害者スポーツの普及・促進だけでなく、障害のある人々に対する理解、そして社会における共生と参加を国民に促してきた。

また、東京都は障害の有無や年齢、性別に関わらず、だれもがスポーツに親しみ、スポーツの力を享受する「スポーツ都市東京」を実現するため、健常者スポーツと障害者のスポーツを一元的に所管する組織体制を整え、スポーツ行政を一体的、総合的に推進している。さらに障害者スポーツのあるべき姿や方向性を指し示す指針として2012年「東京都障害者スポーツ振興計画」を策定し、中長期にわたって障害者スポーツを体系的、継続的に着実に推進していく。

その先駆的な取組として2013年には、国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会を、ひとつのスポーツの祭典「スポーツ祭東京2013」として開催し、東京を舞台に、スポーツを通じて障害のある人となない人の連帯の輪を全国に広げ、ともに機会と経験を分かち合う機会とする。

コミュニケーション戦略に加え、このような取組を行っていくことで障害者スポーツに関する知識や関心を高めていく。

パラリンピックプロモーション予算としては、広告宣伝費を5.8億円計上している。

詳細についてはテーマ9.12.2及び別冊の財政包括データを参照のこと。

9.11.2 様々な影響が予想されるなかで、とくに接続機器、物流面において大きな影響があるため、IOCはパラリンピック競技大会のIBCをオリンピック競技大会用のものと同じにすることを推奨します。パラリンピックIBC/MPCがオリンピックIBC/MPCと同じであるかどうかを、明記してください。同一でない場合は、代替サイトとして利用可能な施設を示してください。

IBC/MPC

パラリンピック競技大会のIBC/MPCは、オリンピック競技大会と同一の施設を使用する。

9.12 財務

9.12.1 パラリンピック競技大会の資金調達方法及び財源負担者について説明してください。国、地域政府、自治体その他の当局を含む、すべての財源負担者から保証書入手し提出してください。

厳しい管理を実施

運営資金の半分を確保

大会組織委員会は、パラリンピック競技大会の予算をオリンピック競技大会の予算に統合し、オリンピック競技大会と同様の厳しい予算管理を行う。

また、パラリンピック競技大会に係る収益を確保するため、IPC及びIOCと協議の上、戦略的かつ効果的なマーケティング活動を実施する。

日本国政府及び東京都は、パラリンピック競技大会の運営費用の50%を支援することを保証している。

保証については、保証ファイルを参照のこと。

9.12.2 パラリンピック競技大会の予算を示してください。予算作成及び通貨換算に使用する原則、予算表は財政のテーマにおいて提示した予算と整合していること。

下記表及び別冊の財政包括データを参照のこと。

9.13 開閉会式

パラリンピック競技大会の開会式及び閉会式に使用予定の会場について簡単に説明してください。立地や座席数及びその会場が既存か新設予定かを示してください。開閉会式が提示済みの競技会場で行われない場合には、9.5.3で要求されている地図上にその会場位置を示してください。

開閉会式

パラリンピック競技大会の開会式及び閉会式は、2019年までに新たに建設される最新鋭のオリンピックスタジアムで開催する。スタジアムの座席数は、多数の車いす用座席を含め、8万席である。

表 9.12.2 パラリンピック競技大会予算

A - 収入				B - 支出				
		2012 日本円 (百万円)	2012 米ドル (千ドル)	%		2012 日本円 (百万円)	2012 米ドル (千ドル)	%
1	テレビ放映権	300	3,409	2	B1	設備投資 競技会場 パラリンピック選手村、 その他の村 IBC/MPC	0	0
2	ローカルスポンサーシップ	2,250	25,568	16	8			
3	チケット売上	4,070	46,246	29				
4	ライセンス	120	1,364	1	B2	運営 競技会場 パラリンピック選手村、その他の村 IBC/MPC	641	7,285
5	公的支援 国 都道府県 区市町村	7,000	79,545	50	9	人件費	996	11,317
6	その他	290	3,293	2	10	情報技術	2,067	23,489
					11	式典及び文化	2,352	26,727
					12	医療サービス	100	1,131
					13	ケータリング	553	6,279
					14	輸送	2,384	27,091
					15	セキュリティ	1,224	13,910
					16	広告・宣伝	575	6,534
					17	管理	1,299	14,766
					18	パラリンピック競技大会のテストイベント	135	1,532
					19	その他	1,704	19,364
7	資金不足	0	0	0	20	剰余金	0	0
	合計	14,030	159,425	100	21	合計	14,030	159,425



# 10

## 選手村

- 全ての選手にとって中心となる安全かつ華やかな拠点
- ・都心の臨海部に位置し、85%の競技会場が8km圏内に配置
- ・各NOC/NPC専用施設が完備されたゆとりある宿泊施設
- ・包括的なNOC/NPC補助制度
- ・世界的なエンターテイメント、ショッピングエリアが徒歩圏内に位置
- ・スポーツを通じた国際交流等の将来へのレガシー

## 選手村のコンセプト

10.1 以下の要素を含む、オリンピック選手村に関する貴コンセプトを説明してください。

- ・所有者
- ・(開催都市に関連した)立地
- ・標高
- ・設計
- ・レイアウト
- ・宿泊施設のタイプ
- ・特に配慮した点/工夫
- ・オリンピック選手村の規模(ヘクタールで示してください)
- ・オリンピック後の用途
- ・パラリンピックに配慮した点

### すべての選手が安心して快適に楽しく生活できる、もう一つのわが家

すべての選手にとって、選手村はオリンピック・パラリンピック競技大会の中心であり、2020年東京大会のコンセプトの中心でもある。

それは穏やかにくつろぐことのできるもう一つのわが家であり、一人で静かに過ごすことができる安全な場所である。また、競技に向かう準備の場であるとともにチームメイトと互いを祝福し、世界中から来る新しい友人と出会う場でもある。

選手村は、選手が競技に向けて集中力を高める場所であり、また、楽しむための場所でもある。そのため選手村は、利便性、安全性及び快適性の面で高いサービス水準を満たす必要がある。東京オリンピック・パラリンピック競技大会の選手村は、選手第一主義の理念に基づき、これらの要求を最高水準で満たすものとする。

2020年東京大会では、東京の主要な海の玄関口のひとつである晴海ふ頭に、選手村を提供する。

2020年東京大会の競技会場は、非常にコンパクトな施設配置であり、東京圏にある33の競技会場のうち28会場が半径8km圏内に位置する。その中心に選手村は位置しており、東京のエンターテインメントの中心地や繁華街にも近接している。



選手村の設計及び建設は、世界有数の国内でも一流の設計会社のコントロールのもと行われ、緻密な運営計画のもと、最高水準の実用性、アクセシビリティ、持続可能性を備えるとともに、革新的な技術、日本の伝統的な様式と調和を最高の形で表現する。

大会期間中の、選手村の運営効率を最大化するために、海外の専門家から助言を求め、また過去の大会を参考に、とりわけ輸送、食事、体調管理、レクリエーション及びNOCへの円滑な支援に重点を置く。

サッカーの予選に出場するため東京以外の最適なホテルに宿泊する選手を含め、すべての選手が選手村に滞在することができる。

#### 用地は東京都が所有

東京都の監督の下で民間事業者等が建設する選手村の用地は、東京都が所有している。



東京オリンピック・パラリンピック競技大会のコンセプトの中心となる選手村

選手村は、ヘリテッジゾーンと東京ベイゾーンが交わる急速に開発が進んでいるウォーターフロントである晴海ふ頭に位置しており、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の地理的な中心にあるとともに大会コンセプトの中心である。

選手村は、歴史ある繁華街の銀座に近接しているほか、未来への発展を印象付けるようなエンターテインメント施設や斬新な建築物が連なる臨海都市の台場にも近接しており、選手は活気あふれる先進都市東京が提供する祭典を身近に感じながら、最高のパフォーマンスを生み出すことができる。

車両アクセスは十分に考慮しており、選手アクセス、運営アクセス及び訪問者アクセスは明確に分けられる。選手村へは3方向からのアクセスが可能となっている。選手は臨海部の立地を十分に満喫できると同時に、海面には高度なセキュリティが設けられ選手村への侵入を防止する。

標高

選手村の標高はおよそ6mである。

10.1 - 選手村と東京の観光地



快適さと楽しさを盛り込んだ設計

選手村に用意されるベッド数は、NOCの要求を満たす16,000台及び必要に応じて追加の役員が利用可能な1,000台の合計17,000台である。

国内有数の建築会社、選手村に滞在経験のある日本のオリンピック・パラリンピック選手、選手村の運営経験のある専門家の協力のもと計画される選手村の設計の主な特徴は次のとおりである。

- ・ 利便性と効率性 - 各居住ゾーンは、3つの街区に分けられ、中心の輸送モール及びメインダイニングホールから各住棟まで最大でも550m以内に、効果的に配置し、徒歩6分以内で到着できる。居住者センターとNOCのオフィス在住棟内に配置し、選手の集いの場となるような共用施設等は、選手村の中心や海岸のプロムナードに沿って配置される。
- ・ 安心と安全 - 三方を海に囲まれているため選手村には、周囲の侵入者排除エリアには高度のビデオ解析技術を備えた侵入防止浮(うき)が配備され居住ゾーンの選手村セキュリティ・コマンドセンターで常時監視を続ける。選手村セキュリティの運営には、無許可の侵入者対策として、海上・陸上の両要素を設ける。選手村は、陸地側にソフト

セキュリティゾーンを設けており、ソフトセキュリティ・エリアと選手村自体を隔離する二重フェンスで守られている。選手村に入場するスタッフ、搬入される物品は全て、空港並みのスクリーニング・検査体制を通ることになっており、近隣のロジスティックス・スクリーニング・サイトを利用することで、選手村固有の車両チェック・ポイント(VCPs)で混雑を防ぐ。居住ゾーンと選手村の他のゾーンの間には別のフェンスも設置し、アクセスを規制して、居住者のプライバシーと安全を確保する。

- ・ 周辺環境と居住環境 - 宿泊棟は居住者が東京湾のすばらしい景色や周辺の緑環境を楽しめるように設計される。また、既存の客船ターミナルを活用し、水辺空間や船を利用したアクティビティが計画される。
- ・ アクセシビリティ - 誰もが使いやすいユニバーサルデザインに基づいて設計する。
- ・ 持続可能性 - 選手村は、2020年東京オリンピック・パラリンピック環境ガイドライン及び省エネルギー基準に基づいた環境対策がなされ、持続可能な都市居住のモデルとなる。
- ・ 伝統文化 - 居住施設の内装には、日本の伝統文化を反映し、オリンピックビレッジプラザ等の仮設建築物には木材を積極的に使用する。また、カジュアルダイニングでは、日本式のもてなしと海外から人気の高い日本食の提供も行う。

あらゆるニーズを満たす居住ゾーン

3街区に分けられている居住ゾーンは選手村の大きな部分を占めている。それらの街区が交わる場所にメインダイニングホールがある。メインダイニングホールは選手専用のバスターミナルに隣接しているため、選手は村への出入りの際にも食事を摂ることができる。

メインダイニングホールは選手村の中心に位置し、選手が集い、コミュニケーションをとり、喜びを共有する交流の中心となる。同時に各国名物料理に加えて、日本の食文化を伝える文化交流の場ともなる。

敷地内道路には、環境やバリアフリーに配慮した村内巡回バスが運行しており、各住棟にスムーズにアクセス可能である。

各住棟の近くには、利便性を考慮し、居住者センター、カフェ等を分散して配置する。また、選手の交流の拠点となるレクリエーション施設、カジュアルダイニング及びリラクゼーション施設等の快適な施設は選手村内に効果的に配置する。

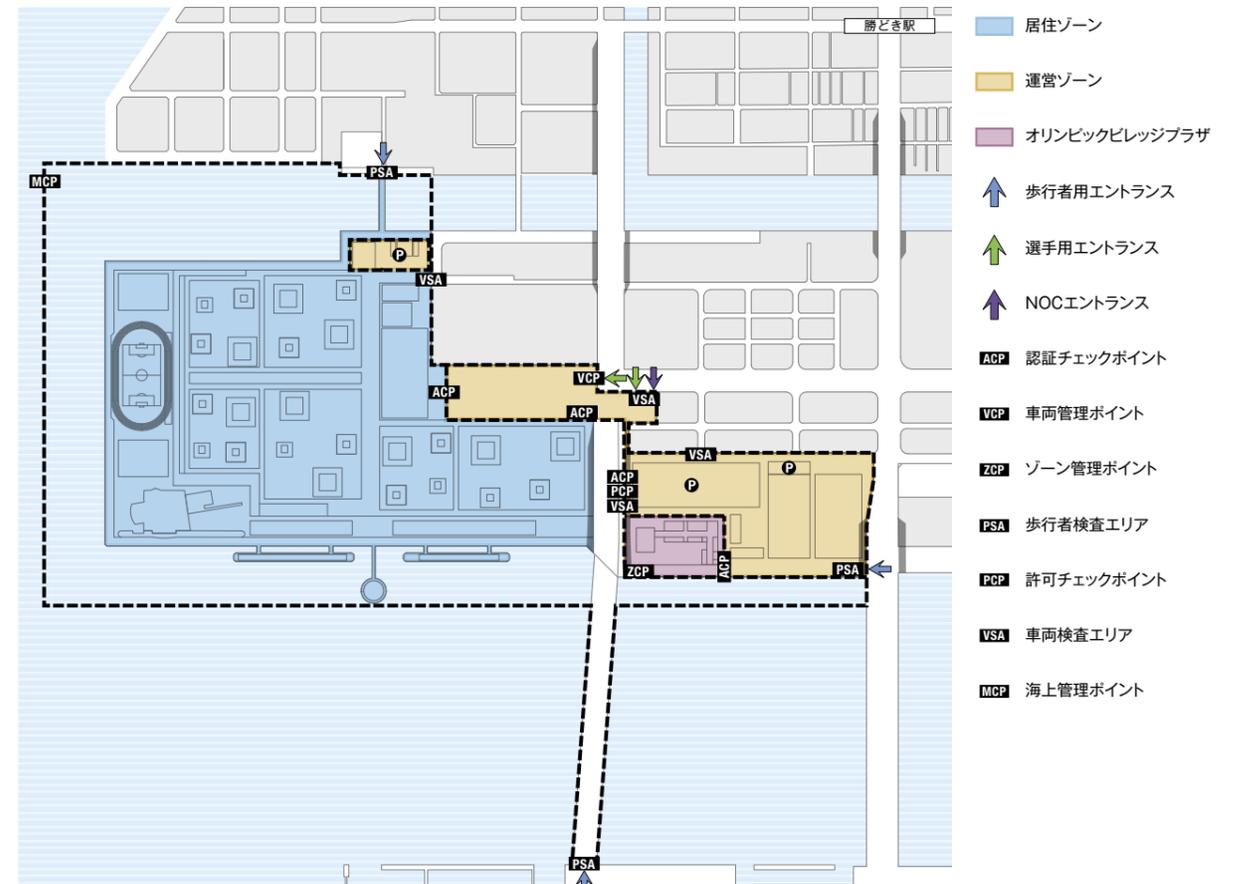
十分な設備と人員を備えた総合診療所やNOC/NPCサービスセンターは、混雑を緩和するために、選手村の中心に配置する。

選手の練習会場は、選手村からの利便性を考慮して配置され、さらに選手村の居住ゾーンには、フィットネス・トレーニング施設、400mトラック、プール及びテニスコート、水辺に沿ってジョギングコースを整備し、選手が練習できる施設を用意する。

近くには宗教センターがあり、選手の精神的な支えとしての役割を果たす。

大会後もジョギングルート等はレガシーとして残り、都心にありながら緑にあふれ開放的で魅力的な空間となる。

10.1.a - 選手村のゾーニング



**オリンピックビレッジプラザ**

オリンピックビレッジプラザは選手村の東側の水際に位置する。ここでは、認証を受けたオリンピック・パラリンピックファミリーや、メディア関係者、居住者の関係者が訪れる場所となる。

プラザには、様々な店舗、カジュアルダイニング及びレクリエーション施設等を配置する。

日本の文化を感じてもらうため、プラザの設計は日本の伝統的な建築様式を取り入れ、木材を使用する。選手や来場者は、日本の最新技術と伝統建築の対比を感じることができるだろう。円形劇場やフラッグポールモールは、入村式の場となり、日本文化や伝統芸能を紹介する催しもここで行う。

**機能的に配置された運営ゾーン**

オリンピックビレッジプラザに近接してゲストバスセンターやメディアセンターを配置することにより、訪問者やメディア関係者は円滑に手続等を行うことができる。

NOC/NPC用の駐車場、運営エリア及びその他の車両に関するエリアは、村の東端に配置され、村内循環バスに直結し、選手村内に容易にアクセスできる。

運営ゾーンは、選手達の居住区域から完全に分離し、騒音を最小限にするよう配慮し、運営車両のルートは選手の活動の邪魔をしないよう計画している。



### 住戸のレイアウト

各住戸の窓は、選手村の立地特性を活かし東京湾の風景が望めるつくりとする。また、周辺環境、海からのスカイラインを考慮し、様々な高さの住棟の配置を検討している。

選手村のレガシー計画では住棟高さは重要であり、様々な高さを用意するが、選手の居住用フロアは2階から14階まで利用する。また、高性能のエレベーターの導入により選手は、効率的に移動できる。

大会終了後、選手村は様々な後利用のニーズに合わせて改装される。住戸は、オリンピック大会とパラリンピック大会に適した間取りや設備として建設されるが、大会後は、長期の居住を見据えた良質な住宅のほか、国際交流プラザ(1.4を参照)の拠点としての活用が想定されている。分棟や大きさが異なる住棟からなる選手村は、大会中の管理のしやすさのみならず、後利用に対しても柔軟性と多様性をもたせることが可能である。

以下にオリンピック大会中に提供される住戸の一例を示す。

- ・ 8人用住戸: 135㎡、ツインルーム2室、シングルルーム4室、浴室3箇所
- ・ 7人用住戸: 104㎡、ツインルーム1室、シングルルーム5室、浴室2箇所
- ・ 6人用住戸: 90㎡、ツインルーム1室、シングルルーム4室、浴室2箇所
- ・ 4人用住戸: 60㎡、ツインルーム2室、浴室1箇所

なお、すべての住戸には、寝室と浴室のほかにリビングルームが備わっている。

すべての住戸で国際デジタルテレビの視聴及び無線接続による高速インターネットの利用が可能である。

### 居住者への特別な配慮

#### ・ 選手の意見を取り入れた選手村

選手村の居住経験がある選手こそ、選手村への優れたアイデアの持ち主である。彼らのアイデアを取り入れるため、アスリートと幅広い内容について意見を交換しており、彼らの意見を選手村計画に反映している。

例えば、メインダイニングホールのほかに、住戸の近くにカジュアルダイニングが欲しいという要望を受けて計画に反映した。また、食事のメニューについて、その種類を増やすなどの意見があり、その実現に向けて対応する。

エレベーターの待ち時間は短いほうが良いという意見を踏まえ、宿泊施設に大型で効率的なエレベーターを設置する。

くつろげる環境を確保するため、選手村の各所に静かな「オアシス」を設けるという提案を受けて、緑に囲まれた中庭や広場、水際という立地をうまく利用した眺めの良いプールやカジュアルダイニングをリラックスできる空間として準備している。

選手村には、清潔なことで知られている日本の衛生基準が適用される。施設の清掃やゴミ収集を細やかにし、居室のシーツやタオルを適宜交換する。

選手が衣類を洗濯したい場合には、オリンピックビレッジプラザ内にあるクリーニングサービスに加えて集配サービスを利用することができるほか、住戸内に洗濯機を設置し、自分で洗濯することもできる。

#### ・ NOCへの特別な配慮

大会組織委員会はすべてのNOCに選手が最高のパフォーマンスを発揮できるような生活環境を提供する。NOC及び関係者のための十分な広さのオフィス、サービスセンター、会議室及び医務室等を各宿泊棟内に用意する。

各選手団団長が会議等に使用する団長ホールは居住ゾーンの中心に配置する。

選手村には、IOCの承認を受けた追加の役員のために、およそ1,000台のベッドを用意する。

大会組織委員会は、NOC、NPC、IF、IPSFのためにサポートプログラムを提供するほか、IOCと協議し、選手やその家族等に競技観戦の機会が与えられるよう配慮する。



### 都民と、そして世界のためのレガシー

選手村は、都民や国民にとっての永続的なレガシー（遺産）になるとともに、環境やエネルギーを多方面から考慮した持続可能な取組により、世界の人々にとっては、持続可能な都市居住の模範となる。

選手村に大会のレガシーとオリンピックコミュニティのコンセプトを残していくことで、晴海地区は、大会終了後も様々な人が集い、交流し、発展、発信していく国際交流拠点となる。

大会終了後、東京都とオリンピック・レガシー委員会は民間企業と連携し、教育、文化、スポーツ等の面から様々な世代の活動を推進し、住宅と複合した国際交流拠点としての開発計画をとりまとめる意向である。海の玄関口である眺めの良い晴海ふ頭の先端には緑地が創出され、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を記念する都民に開かれた象徴的な公園となる。

選手村の施設を有効活用しながら、複合的な街を計画している。

晴海地区は、国が新成長戦略として進める総合特区制度のエリアに位置づけられており、既成の枠組にとられない幅広い取組を特区制度が後押しする。また、周辺の地域では大規模な再開発プロジェクトが進行中であることから、晴海地区においても、民間出資が期待できる。

また、晴海地区全体の利用者が増加することを想定し、新たなアクセス手段となる交通システムを検討している。これは、輸送モールのレガシーにもなる。



・技術革新の共有

選手村は、技術革新の世界的リーダーとしての日本の立場を保ち、新技術を特徴づける場となる。居住ゾーンの至るところで、ライブ映像やタッチスクリーンなどが見られるだろう。

・環境への特別な配慮

選手村は、2020年東京オリンピック・パラリンピック環境ガイドライン、建築物環境計画書制度、東京都の長期都市計画である「2020年の東京」に基づく包括的で検証可能な温室効果ガス削減計画に沿って開発されるため、温室効果ガスの排出は最小限に抑えられる。

また、CASBEEまちづくり基準のみならず、LEED ND(近隣開発)基準の特定の要素を可能な限り適用する。

選手村の敷地は東京都の「2020年の東京」に描かれている「風の道」の通過点であることから、風が通り抜けやすい配置計画としている。植栽や屋上緑化、壁面緑化は積極的に計画される。

このような取組は、東京都の開発諸制度の方針にも盛り込まれており、環境対策の実施は、民間開発のインセンティブとなる。

仮施設については、大会後は移設・リサイクル等を行い、再利用を図る。

また太陽光等の再生可能エネルギーの活用をはじめ、海水ヒートポンプや、清掃工場の排熱利用、食品廃棄物を利用したバイオガス発電などを活用してエネルギーを節約する。

選手村は、高効率・省エネルギー設備や情報通信技術を活用した建築物エネルギー管理システム(BEMS)の導入により、エネルギー消費を管理・抑制する。

村内巡回バスや運送車両は電気自動車や燃料電池車を積極的に利用する。大会が環境配慮型自動車・バスを日本に普及させる契機となる。

選手村の立地特性を生かし選手バスによる輸送に加えて、都内各所主要スポットへの移動可能な海上交通を計画している。

選手村は日本の技術を結集した持続可能な都市居住の実現に向けたスマートシティの先駆的事例となる。その実現に向けて、官民融合したグループが結成されている。

最適な規模の選手村

選手村はセキュリティペリメーター内の土地と水域で70ヘクタールを占める。そのうち土地は44ヘクタールである。

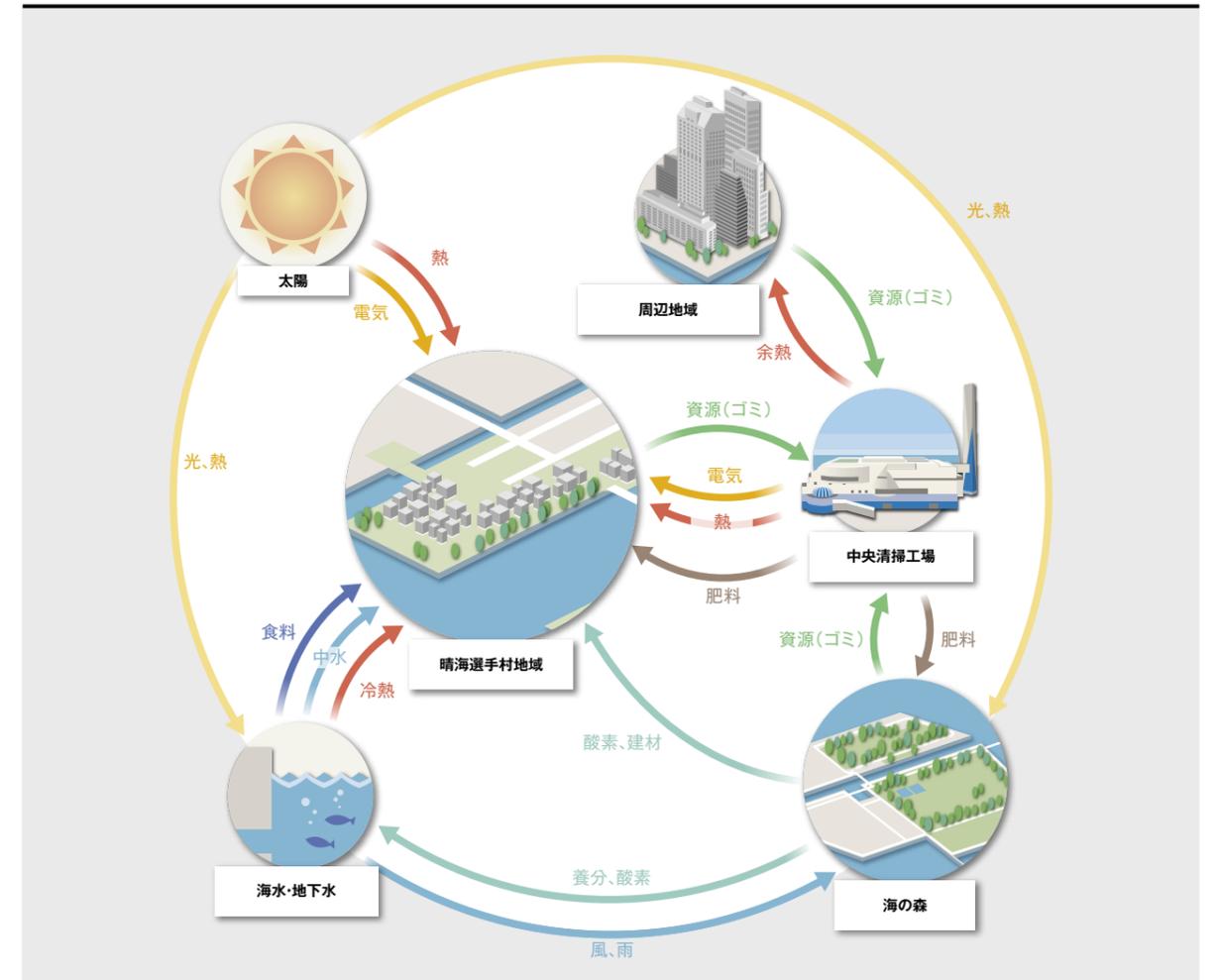
パラリンピック選手村への円滑な移行

選手村の設計コンセプトはユニバーサルデザインに基づいているため、オリンピック大会及びパラリンピック大会のすべての選手及び関係者にとって利用しやすいものとなる。

このため、大会組織委員会はオリンピック選手村からパラリンピック選手村への移行を円滑に行うことができる。唯一の大きな変更は、宿泊棟の住戸フロアを10層に減らすことである。また、車いす利用者は、一部のツインルームをシングルルームとして使用することで、快適に滞在することができる。

パラリンピック選手村では、国際パラリンピック競技団体(IPSF)が滞在するためのベッドを含め、8,000台のベッドを用意しており、さらに必要に応じてベッドを追加することが可能である。オリンピック選手村が醸し出す祭典の雰囲気はパラリンピック選手村でも感じられるように、その規模に合わせて工夫する。

図 10.1 晴海地域の持続可能性のイメージ



10.2 選手村の建設に充てられる用地が、開発計画及び建設計画への認可を取得するための基準に沿ったものである旨の保証を、所轄官庁あるいは所有者から入手し提出してください。

**都市計画と整合した選手村**

選手村のコンセプトは現在の都市計画と十分に整合している。

東京都は都市計画の決定権者であり、この用地の所有者である。このため、東京都が選手村の開発に対する総合的な責任を負う。

晴海地区の開発は、東京都の長期ビジョンである「2020年の東京」の考え方に基づいて進められる。「2020年の東京」では、高度な防災都市の実現、低炭素で高効率な自立・分散型エネルギー社会の創出などが目標として掲げられている。

選手村開発計画は東京都の基本計画のひとつである豊洲・晴海開発整備計画に基づいている。

民間事業者は東京都の監督の下で選手村を開発するため、その設計及び建設は、基本計画及び「2020年の東京」が掲げる目標と方針との整合性が確実に確保される。

保証については、保証ファイルを参照のこと。

10.3 初期段階環境影響評価を実施し、自然災害の可能性を含む調査概要を提出してください。

**初期段階環境影響評価の実施**

選手村について実施した初期段階の環境影響評価では、建設等による環境への大きな影響はないことを確認した。

開催都市に選定された場合には、大会組織委員会は大会開催における環境影響の評価についてさらなる調査を行う。

10.4 選手村建設の責任者は誰ですか。

**選手村開発に関する責任**

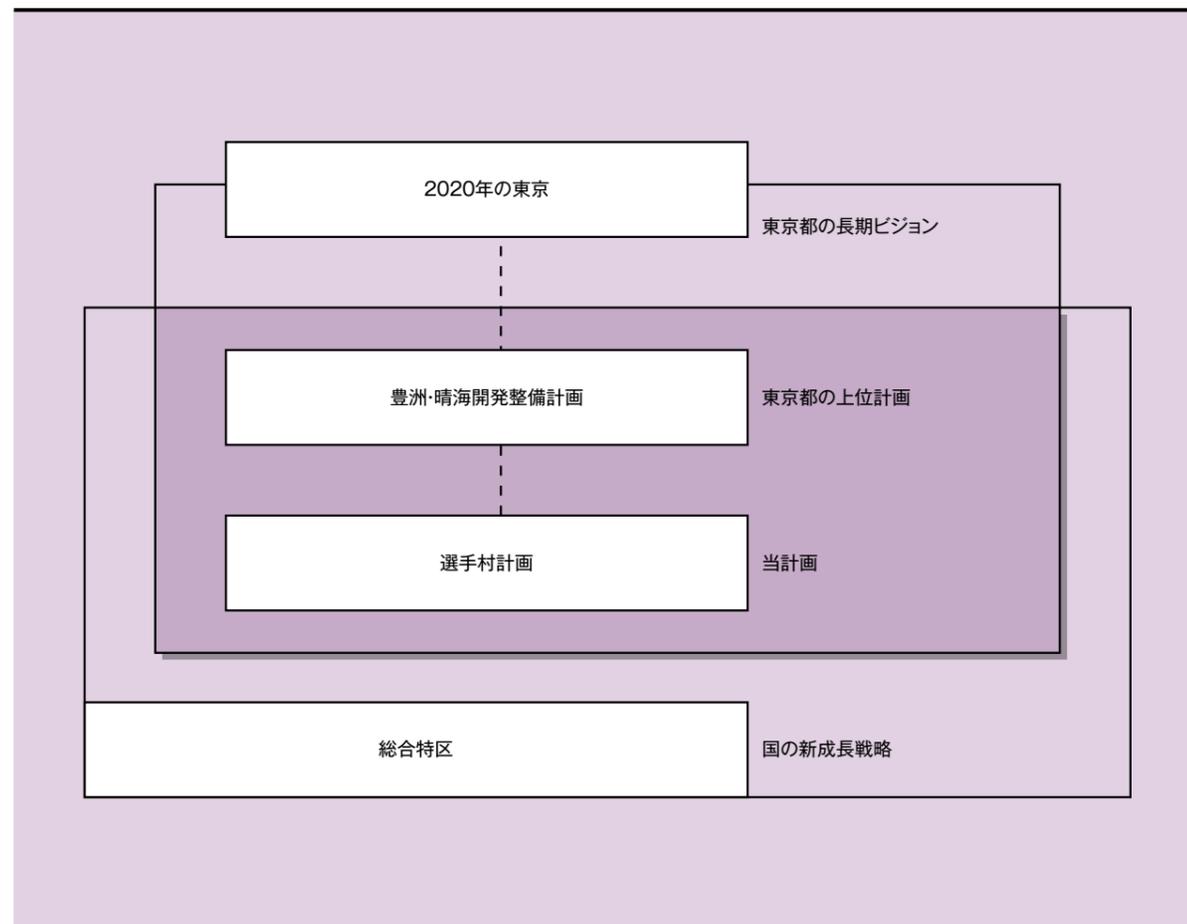
選手村用地の所有者である東京都は、民間事業者による選手村の開発に対して責任を有する。東京都は、選手村の恒久住宅部分を開発する民間事業者に対し、公募条件を定める。東京都は、開発にあたって必要な契約条件を定めることにより、選手村計画と整合した開発の実現を保証する。具体的には選手村の配置計画、居住施設要件、インフラに関する要件、大会時の選手村の賃借についての条件を公募時に定め、落札した事業者は、この条件に基づき設計を行う。設計段階においても、選手村のニーズに合致するよう、大会組織委員会が設計に関与することを契約条件の中で定める。東京都は、建設作業全体の継続性を確実に維持し、建造物の品質が一定に維持され、各民間事業者が期限内に業務を完了するよう監督する責任を負う。

また、大会組織委員会は、選手村のオーバーレイの設計、仮設施設的设计を行い、東京都から土地を借用し、工事及び設置を行う。恒久住宅部分については、大会期間中、大会組織委員会は、適正な賃料で借り上げる。

大会終了後、大会組織委員会は仮設施設の解体、撤去を行い、恒久住宅は民間事業者に返却する。民間事業者は、後利用計画に合わせて、住宅を改装し、分譲または賃貸することで開発資金を回収する。

保証については、保証ファイルを参照のこと。

図 10.2 - 上位計画



10.5 恒久的工事とオーバーレイ工事に分けて、建設工事費の内訳を記入してください。  
選手村建設に関して関係当局機関が負担する工事費用を確認する保証書を、関係当局機関から入手し提出してください。  
選手村の資金調達に不足が生じた際の、資金引受書を提出してください。

選手村の恒久住宅部分は、周辺整備と合わせて、経験豊富な民間の開発チームにより資金調達と建設が行われる。これらの施設は後のレガシーとなる。東京の都市計画は民間開発プロジェクトを後押しする都市開発諸制度を用意しており、当エリアの近隣では民間による再開発事業が多く行われている。

日本国政府は良質な住宅市街地整備に対し、既に補助制度を設けている。選手村開発も、一定の要件に該当する場合は、政府補助金が活用できる。

このような制度が選手村の開発をサポートする。

仮設建物の建設は大会組織委員会が負担し、その内訳は、大会時に必要なダイニングホール等の建設費用、住棟のレンタル費用等が含まれる。

保証については、保証ファイルを参照のこと。

10.6 選手村あるいは既設構造物を賃借する場合は、賃貸費用を明記した保証書、及び必要な場合、改修工事資金の保証書を提出してください。

賃借料の支払い

選手村の恒久住宅部分は民間事業者によって建設されるため、これらの建物の使用にあたり大会組織委員会は、38億円を上限に賃借料を支払い、これを借用する。

賃借期間には、全ての仮設施設工事、オーバーレイ工事、装飾、備品、家具等の設置と大会後の撤去に必要な期間が含まれる。

保証については、保証ファイルを参照のこと。

10.7 既設建物／インフラを選手村として使用する場合は、当該資産をオリンピック及びパラリンピックに使用することを許可する旨の、所有者の保証書を提出してください。保証書には、占有日付及び明渡日付を明記してください。

大会時に使用するインフラはすべて東京都が所有

東京都は、選手村予定地内の大会時に使用する既存の建物及びインフラをすべて所有しており、これらの使用を保証する。

保証については、保証ファイルを参照のこと。

10.8 選手村が国際／国内アクセシビリティ基準に準拠している／準拠することになるかを示す保証を、管轄当局から入手し提出してください。  
住宅棟におけるエレベータの数、積載量、スピードなどの詳細情報を提出してください。これにはオリンピック競技大会期間中の標準的な一日における処理能力フローチャートが含まれていること。

アクセシビリティ基準を満たす選手村

選手村はIPCのアクセシビリティガイドラインに準拠する。

また、現行の法律及び条例に基づき、東京都は、都内で新たに住宅建設を行う場合、高水準のアクセシビリティ基準を満たすよう指導している。選手村は、次の法令で定められているすべての要求基準を達成する。

- ・高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(2006年国土交通省)
- ・高齢者、障害者等が利用しやすい建築物の整備に関する条例(2006年 東京都)
- ・東京都福祉のまちづくり条例(2009年 東京都)

これらのアクセシビリティ基準に適合することで、大会期間中から大会後にわたって、国際基準を満たし、すべての人が利用しやすい施設とする。

保証については、保証ファイルを参照のこと。

エレベーターの利便性を確保

東京都は、大会期間中及び大会後の施設利用に最適なエレベーターの配置計画を検討している。エレベーターの総数、定員及び速度は以下のとおりである。

総数: 77基(約220人に1基)  
定員: 15人乗り57基、26人乗り20基  
速度: 90m/分

高性能なエレベーターを設置することにより、上層階に居住する場合も移動時間が最小限に抑えられる。

混雑しない時間帯ではエレベーター利用者は1分以内で1階に到着することができる。

エレベーターの大きさは、パラリンピック時の車椅子利用者分を想定して計画される。

オリンピック大会中のエレベーター移動時間

エレベーターの需要は、選手等が朝食または競技会場へ向かう朝6:30から8:30がピークである。

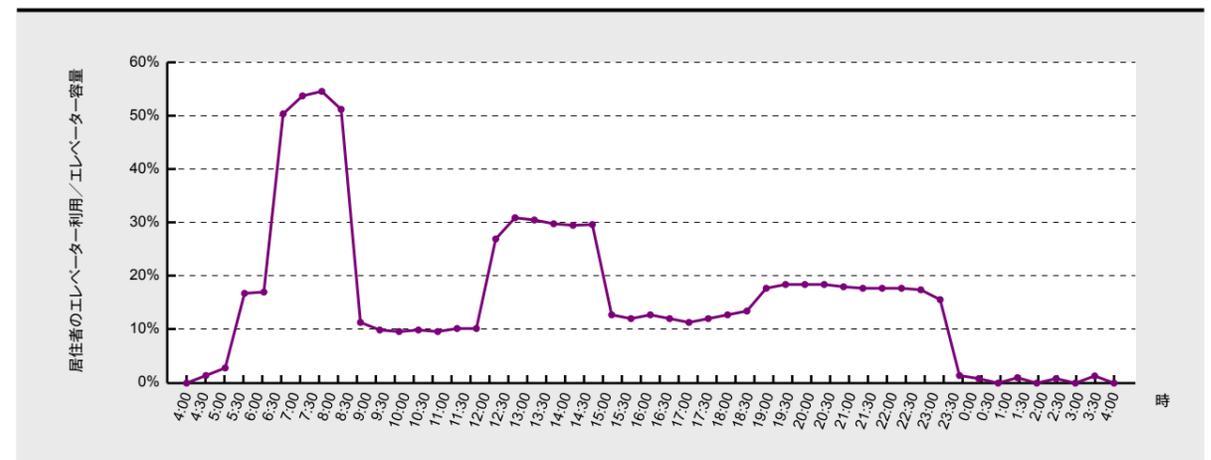
エレベーターの処理能力について、国内の基準により計算した。ピーク2時間に想定される利用人数12,500人の待ち時間が最大でも1分となると確認した。選手村のエレベーターは、この基準を満たす十分な処理能力を有している。

さらに大会組織委員会は、エレベーターの混雑が予想される時間帯をあらかじめ居住者に案内するなど、混雑をより一層緩和するための対策を行う。

表 10.5 選手村の建設工事費

会場	建設工事費										総額 (億円)
	計 (億円)	恒久工事				仮設/会場使用料					
		大会組織委員会		その他		大会組織委員会		その他			
		億円	%	億円	%	億円	%	億円	%		
選手村	954	-	-	954	100	103	103	100	-	-	1,057

図 10.8 居住者のエレベーター利用率



10.9 設計、建設、整備及びオリンピックからパラリンピックへの移行など、選手村開発の様々な段階に関する日程を示してください。  
構想からオリンピック競技大会の6ヶ月前に改装の完了に至るよう、綿密な工程表を示さなければなりません。

表 10.9 開発スケジュール

建設の段階	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
場所の選定	■								
コンセプトデザイン、実施計画の検討	■	■							
環境アセスメント	■			■					■
都市計画手続			■	■					
事業者選定			■						
恒設施設の設計、施工			■	■	■	■	■	■	
仮設オーバーレイの設計、施工					■	■	■	■	■
組織委員会引渡し、据付及び搬入									■
セキュリティ封鎖									■
2020年東京大会									■
搬出、解体									■

10.10 OCOGが当該会場を管理する期間については、選手村に関連する商業権に関するあらゆる権利をOCOGに認めることを示す所有者の保証書を、提出してください。

選手村における商業権の保証

東京都は、開発時に契約を締結し適切な商業権を明記する。

東京都は、選手村が大会組織委員会の管理下にある間、すべての商業権が大会組織委員会に帰属すること、選手村における商業権を適切に管理できることを保証する。なお、この保証は選手村の仮設施設についても同様である。

保証については、保証ファイルを参照のこと。

10.11 以下の図面を必ずPDF形式で保存してCD-ROMで提出してください。

10.11.1 NOCの各ユニットの構成及びサイト内での配置を示す、1:200の縮尺で寸法を明示した図面及び断面図を提出してください。

NOC/NPCのための専用スペース

NOC/NPC代表選手団に、選手、チームスタッフ及び関係者のための専用エリア、必要な保管庫、オフィスを提供する。

CD-ROMの10.11.1のファイル内の図面及び断面図を参照。

10.11.2 宿泊施設及び各部屋の構成ならびに設備及び備品の詳細を示す、1:200の縮尺で寸法を明示した図面及び断面図を提出してください。

広々とした住戸

CD-ROMの10.11.2のファイル内の図面及び断面図を参照。

パラリンピック大会期間中、車椅子利用者はツインルームをシングルルームとして利用することで、快適に滞在することができる。

10.12 シングルルーム及びダブルルームの(壁から壁までの)面積を㎡で示してください。

要求水準を上回る寝室の面積

寝室の面積は、選手村に要求される水準を上回るものとする。

表 10.12 寝室の面積

部屋のタイプ	オリンピック	パラリンピック
	面積 (㎡)	
シングルルーム	9.2~11.5	9.2~14.0
ツインルーム	12.0~14.0	-

10.13 オリンピック大会及びパラリンピック大会の両方について、表10.13に以下を記入してください。  
・シングルルームの数  
・ダブルルームの数  
・ベッド数  
パラリンピック競技大会については、車椅子対応の部屋の割合(%)を明記してください。

十分な数のシングルルーム

選手は競技に備えて集中するためにプライバシーの確保を重視する。これに配慮し、大会組織委員会は選手村に十分な数のシングルルーム(4,654室)を提供する。また、ツインルーム(6,206室)も利用できる。

パラリンピック大会期間中は、ツインルームをシングルルームとして利用するため、シングルルームは全寝室数の100%に当たる8,012室となる。

表 10.13 寝室及びベッドの数

部屋のタイプ	オリンピック		パラリンピック	
	部屋数	ベッド数	部屋数 (車椅子対応の割合%)	ベッド数
シングルルーム	4,654	4,654	8,012 (90%)	8,012
ツインルーム	6,206	12,412	-	-
合計	10,860	17,066	8,012	8,012

10.14 選手村の居住エリアの1人当たりの床面積を示してください。

(1人当たりの床面積=居住エリアの総床面積/選手村の居住人数)

表 10.14 一人当たりの面積

	オリンピック	パラリンピック
	一人当たり(㎡)	
床面積	19.7	31.3

10.15 選手村プラザと居住ゾーンのレイアウトを示してください。特に、ダイニング、アクセスポイント、輸送モールの場所については必ず示してください。

10.15 - 選手村の施設配置



- |                     |
|---------------------|
| 宿泊施設                |
| ① NOC/NPC施設         |
| 居住者センター             |
| メインダイニングホール         |
| IOC/IPCアスリート委員会オフィス |
| WADAオフィス            |
| オリンピック博物館           |
| ② スタッフダイニング         |
| スタッフ休憩室             |
| マクドナルドセンター          |
| 荷物検査エリア             |
| NOC/NPCサービスセンター     |
| スポーツ情報センター          |
| ③ スポーツ鑑賞室           |
| IOC/IPCオフィス         |
| マネジメントオフィス          |
| 選手団団長ホール            |
| ④ 総合診療所             |
| ⑤ スポーツ複合施設          |
| カジュアルダイニング          |
| ⑥ コミュニケーションセンター     |
| ⑦ 多宗教センター           |
| ⑧ 娯楽施設              |
| ⑨ カジュアルダイニング        |
| オリンピックビレッジプラザ       |
| A オリピック小売店          |
| B 総合販売所             |
| C 円形劇場              |
| D カフェ               |
| E インターネットカフェ        |
| F コールセンター           |
| G 銀行                |
| H ヘアサロン             |
| I 郵便局               |
| J 写真店               |
| K 旅行代理店             |
| L チケット販売店           |
| M 花屋                |
| N クリーニング店           |
| O 救急ステーション          |
| P 情報オフィス            |
| Q フラッグポールモール        |

- |               |
|---------------|
| ⑪ 輸送モール       |
| ⑫ 歓迎センター      |
| スタッフ休憩室       |
| ⑬ 消防署         |
| ⑭ ゲスト通行許可センター |
| ⑮ メディアセンター    |
| スタッフセンター      |
| ドライバー休憩室      |
| 設備サービスセンター    |
| ⑯ 選手村管理オフィス   |
| セキュリティ指令センター  |
| 選手村通信センター     |
| ⑰ 設備サービスセンター  |
| NOC/NPC駐車場    |
| ⑱ ライフル保管庫     |
| 選手村用隣接地       |

- |                 |
|-----------------|
| 選手及びチーム役員       |
| IOC             |
| メディア            |
| 運営及びスタッフ        |
| ⇒ 関係者エリア歩行者入口   |
| ⇨ 車両動線          |
| ⇨ 関係者エリア歩行者動線   |
| ⊘ セキュリティライン     |
| ACP 認証チェックポイント  |
| PCP 許可チェックポイント  |
| VCP 車両管理ポイント    |
| VSA 車両検査エリア     |
| PSA 歩行者検査エリア    |
| MCP 海上管理ポイント    |
| ZCP ゾーン管理ポイント   |
| P 駐車場           |
| 降車場所            |
| 乗車場所            |
| S 鉄道駅           |
| オリンピックルートネットワーク |
| OVPセキュリティライン    |
| OPセキュリティライン     |
| 村内循環バス停留所       |
| ▲ メインダイニング入口    |
| ▲ 宿泊施設入口        |

⑩ オリンピックビレッジプラザ 1F

⑩ オリンピックビレッジプラザ 2F

10.16 選手村について、主要施設と居住施設との間の予測される最大勾配と距離を示してください。

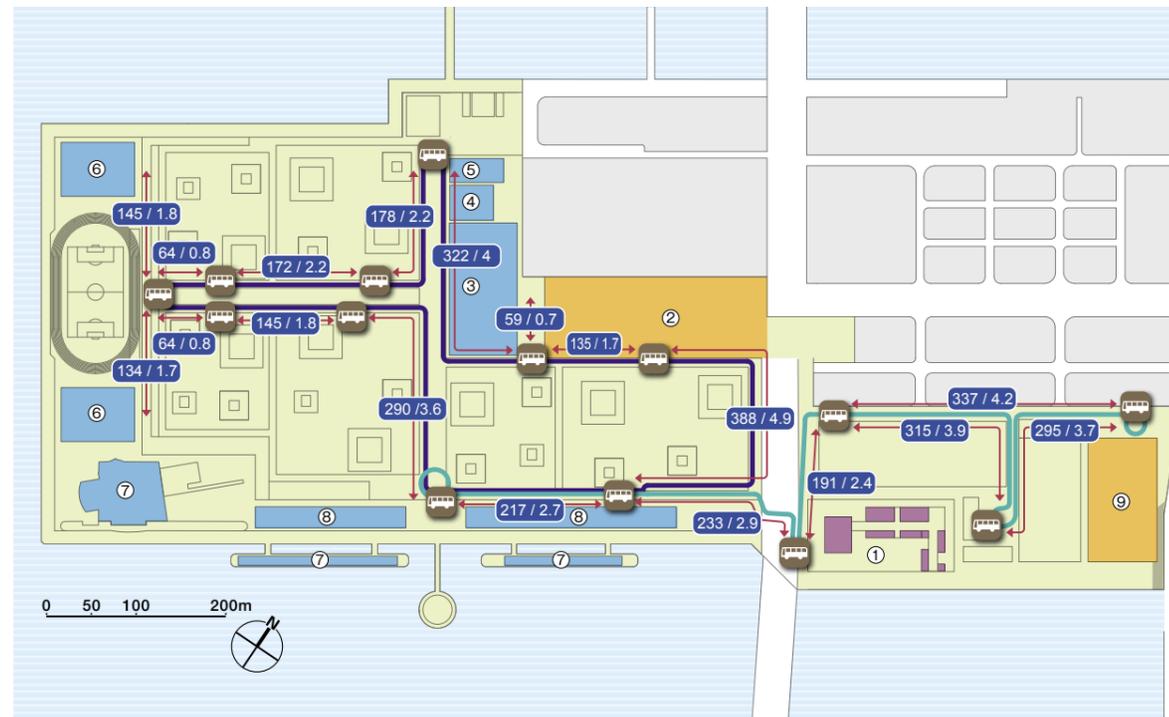
平坦でコンパクトな施設配置

選手村の敷地の最大傾斜は2.5%で、選手村の住居としては、適切な地形である。選手については特に配慮がなされ、水辺へのアクセスは緩やかな傾斜で設計される。また、最も遠い宿泊棟でも選手出入口から850m以内に収まっている。

表 10.16 各施設への距離及び勾配

主要施設	オリンピック		パラリンピック	
	最大勾配 (%)	最大距離 (m)	最大勾配 (%)	最大距離 (m)
輸送モール	0	546	0	546
メインダイニングホール	0	360	0	360
総合診療所	0	531	0	531
村内循環バス停留所	0	100	0	100
オリンピックビレッジプラザ	2.5	1,065	2.5	1,065
スポーツ複合施設	2.5	875	2.5	875
NOC/NPC サービスセンター	0	487	0	487
スポーツ情報センター	0	488	0	488
娯楽施設	2.5	555	2.5	555
カジュアルダイニング	2.5	638	2.5	638

10.16 - 距離と歩行時間



- ➔ 000 / 0.0 ➔ 距離 (m) / 歩行時間 (分)
- 村内循環バス停留所
- ① オリンピックビレッジプラザ
- ② 輸送モール
- ③ メインダイニングホール
- ④ NOC/NPCサービスセンター  
スポーツ情報センター
- ⑤ 総合診療所
- ⑥ スポーツ複合施設
- ⑦ カジュアルダイニング
- ⑧ 娯楽施設
- ⑨ 歓迎センター

10.16 - 各施設への距離及び勾配



- 000 / 0.0 距離 (m) / 勾配 (%)
- ① 輸送モール
- ② メインダイニングホール
- ③ オリンピックビレッジプラザ
- ④ スポーツ複合施設

10.17 選手村について、ダイニングの予定数、面積 (㎡)、及び座席数を示してください。

**バラエティに富み利用しやすいダイニング**

メインダイニングホールは選手村の中心であり、10,000㎡、5,000席を計画している。さらに、バラエティに富み、利用しやすい3つのカジュアルダイニングを選手村の各所に設けるため、選手はこれらの中から自由に選択することができる。カジュアルダイニングでは、日本の食文化を体験してもらえるよう日本食も提供される。

表 10.17 ダイニング

ダイニング	オリンピック		パラリンピック	
	面積 (㎡)	座席数	面積 (㎡)	座席数
メインダイニングホール (1箇所)	10,000	5,000	10,000	2,200
カジュアルダイニング (3箇所)	3,600	700	3,600	420
合計	13,600	5,700	13,600	2,620

10.17 - ダイニングホールの配置



📍 メインダイニングホール 📍 カジュアルダイニング

10.18 NOC旅費補助支援

10.18.1 「各国オリンピック委員会の選手団(すなわち、選手村の滞在が認められる正式に資格認定を受けた選手及び正式に認定された選手団役員、ならびにその他選手団要員)については、首都あるいは各国内オリンピック委員会が指定する主要空港から開催都市までの直通ルートのエコノミークラスの往復運賃に基づく旅費補助支援 (support travel grants. 同上) をOCOGが負担する。」

開催都市契約

オリンピック競技大会に参加するNOC代表団に対してOCOGが交通費補助を行う旨の保証書を提出してください(オリンピック憲章の規則38に従い、選手村に滞在する権利を持つ正式に予選を通過し資格認定を受けた選手及び正式に資格認定を受けた役員のすべて)。この交通費補助は各国の首都または各NOCが指定する主要空港から開催都市の国際玄関空港までの最短ルートの、大会開催期間の標準的な有料での予約変更が可能なエコノミークラス往復航空運賃に基づき定められます。この保証書には、OCOGがIOCが定める手順及び期限に従うことに合意する旨を明記してください。

またIOC-IPC協定の条件に従い、この保証書にはパラリンピック競技大会の選手及び役員の移動条件がオリンピック競技大会時のものと同等であることが確認されていなければなりません。

**NOC/NPC代表選手団への旅費補助の保証**

東京オリンピック・パラリンピック競技大会に参加するNOC/NPC代表選手団(オリンピック憲章の規則38による選手村に滞在する資格認定を受けた選手及びチーム役員)の旅費は、大会組織委員会が負担することを保証する。

大会組織委員会は、各国の首都の空港又は各NOC及びNPCが指定する主要空港から成田国際空港又は羽田空港までの最短ルートのエコノミークラスの往復航空運賃に荷物の運搬費を加えた金額を旅費補助金として設定する。

保証については、保証ファイルを参照のこと。

10.18.2 旅費補助支援の支払いはどの通貨となりますか。

旅費補助金の支払い通貨は米ドルとする。

